

介護支援専門員の労働環境の実態調査 アンケート結果

NPO 法人 千葉県介護支援専門員協議会
調査研究委員会

◇アンケート調査名：「介護支援専門員の労働環境の実態調査」

◇調査票送付先：千葉県内居宅介護支援事業所 1,871 箇所

◇調査対象者：千葉県内の居宅介護支援事業所で介護支援専門員として業務に従事している方（事業所内で1名）

◇回答期間：平成28年11月1日～11月30日

◇回答方法：回等用紙を当会事務局へFAX

◇回答件数：1,151件

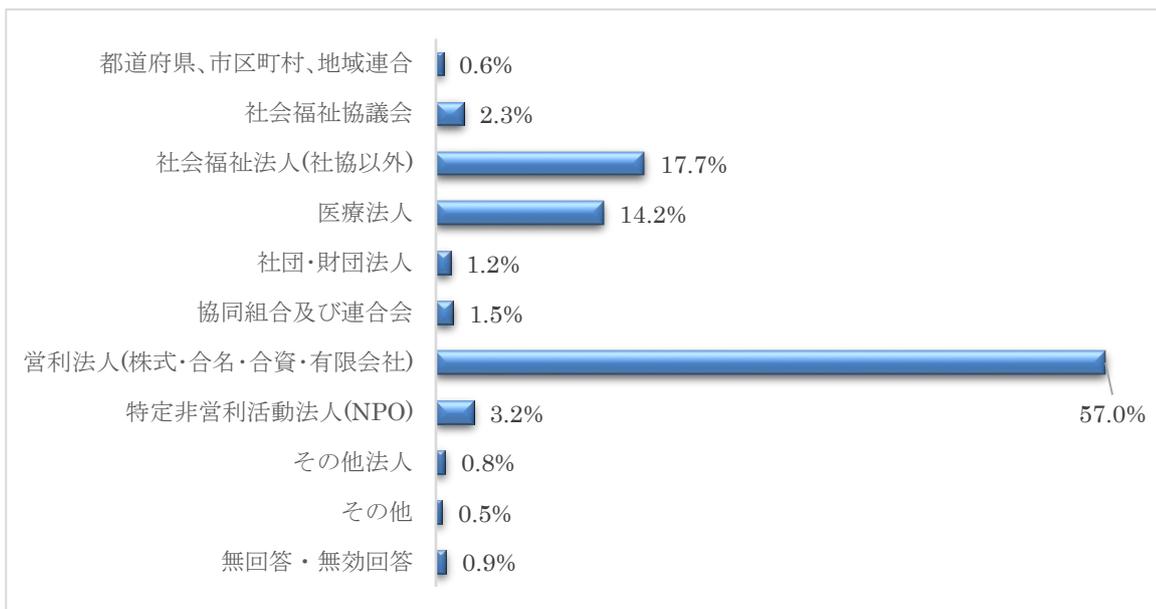
アンケート結果

Q1. あなたの居宅介護支援事業所（以下、所属先という）の所在地を市町村名でお答え下さい。

圏域名	市、郡	件数	比率
千葉	千葉市	179	15.6%
市原	市原市	49	4.3%
東葛南部	市川市	64	5.6%
	浦安市	16	1.4%
	習志野市	22	1.9%
	八千代市	31	2.7%
	鎌ヶ谷市	24	2.1%
	船橋市	105	9.1%
	東葛北部	野田市	28
柏市		77	6.7%
流山市		30	2.6%
我孫子市		21	1.8%
松戸市		78	6.8%
印旛・山武	成田市	20	1.7%
	佐倉市	26	2.3%
	四街道市	18	1.6%
	八街市	8	0.7%
	印西市	18	1.6%
	白井市	11	1.0%
	富里市	5	0.4%
	印旛郡酒々井町	3	0.3%
	印旛郡栄町	3	0.3%
	東金市	15	1.3%
	山武市	16	1.4%
	大網白里市	11	1.0%
	山武郡九十九里町	4	0.3%
山武郡芝山町	2	0.2%	
山武郡横芝光町	4	0.3%	
君津	木更津市	32	2.8%
	君津市	17	1.5%
	富津市	10	0.9%
	袖ヶ浦市	10	0.9%

圏域名	市、郡	件数	比率
香取・海匝	香取市	20	1.7%
	香取郡神崎町	1	0.1%
	香取郡多古町	5	0.4%
	香取郡東庄町	2	0.2%
	銚子市	19	1.7%
	旭市	11	1.0%
	匝瑳市	8	0.7%
	夷隅・長生	茂原市	30
長生郡一宮町		4	0.3%
長生郡睦沢町		3	0.3%
長生郡長生村		3	0.3%
長生郡白子町		4	0.3%
長生郡長柄町		1	0.1%
長生郡長南町		2	0.2%
勝浦市		5	0.4%
いすみ市		15	1.3%
夷隅郡御宿町		2	0.2%
夷隅郡大多喜町	3	0.3%	
安房	館山市	14	1.2%
	鴨川市	17	1.5%
	南房総市	15	1.3%
	安房郡鋸南町	5	0.4%
無回答	未記入	5	0.4%
合計		1151	100%

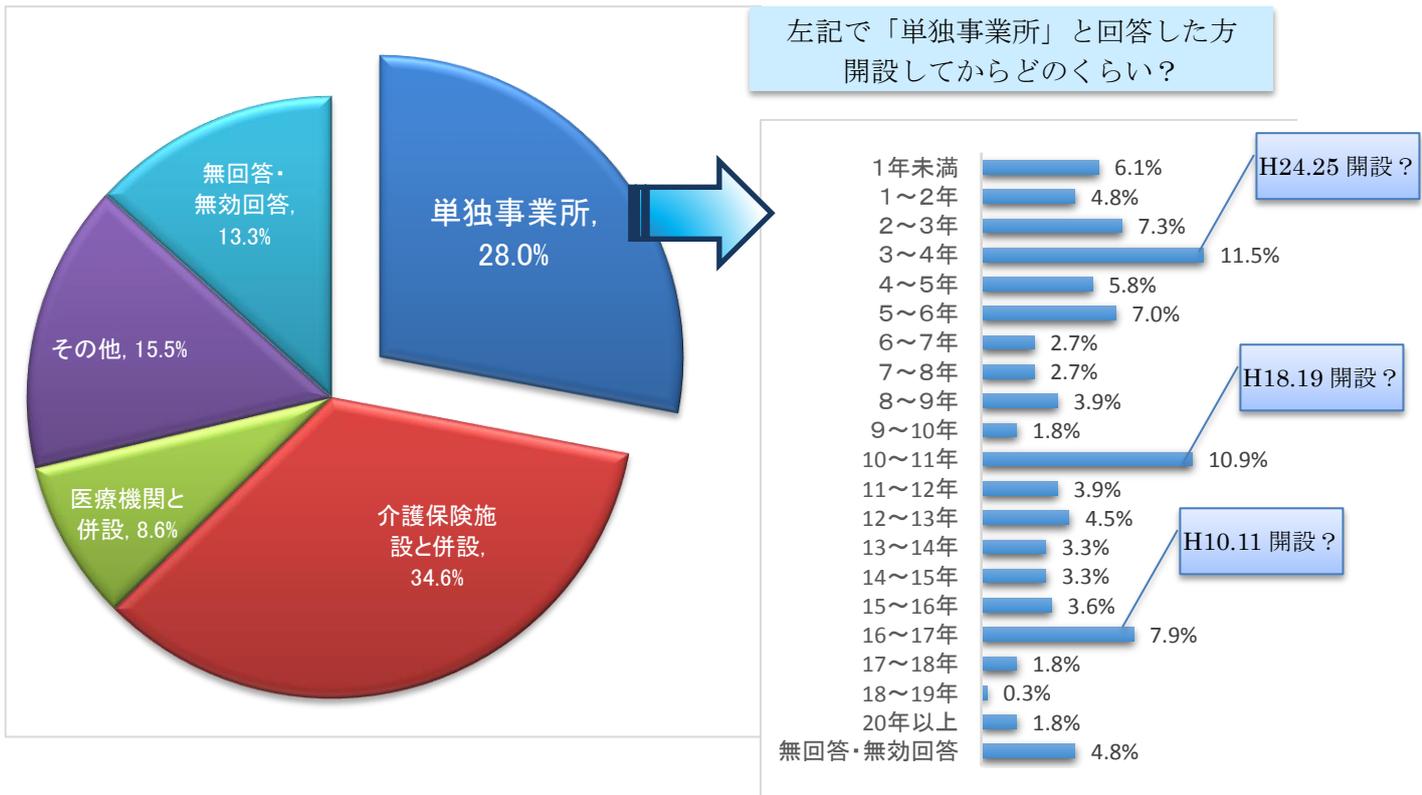
Q2. 所属先の開設主体をお答え下さい。



■その他

1. 合同会社。	2. 株式会社。
3. 企業組合。	4. 地方独立行政法人。
5. 基準該当。	

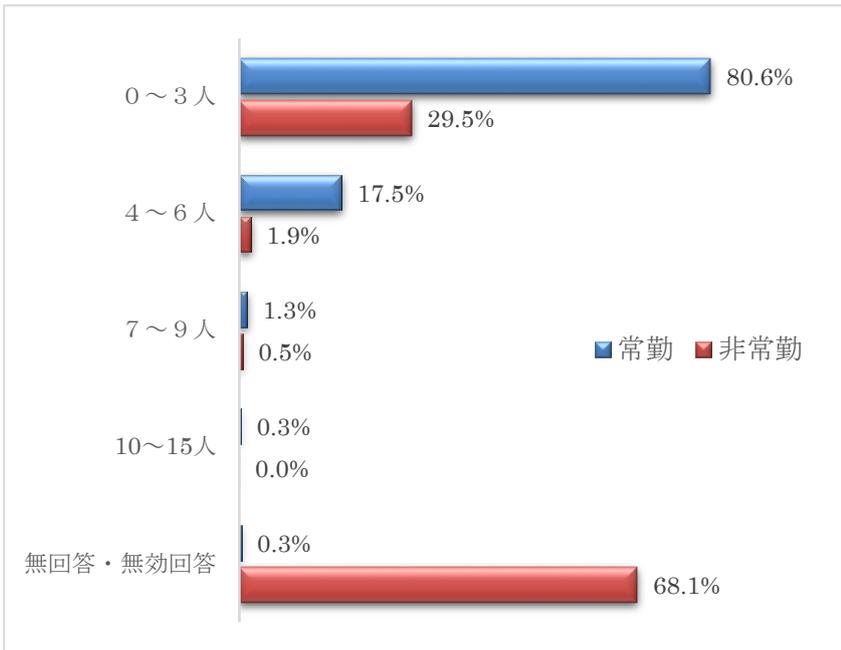
Q3. 所属先の形態について次の中から該当するものをお選び下さい（複数回答可）。



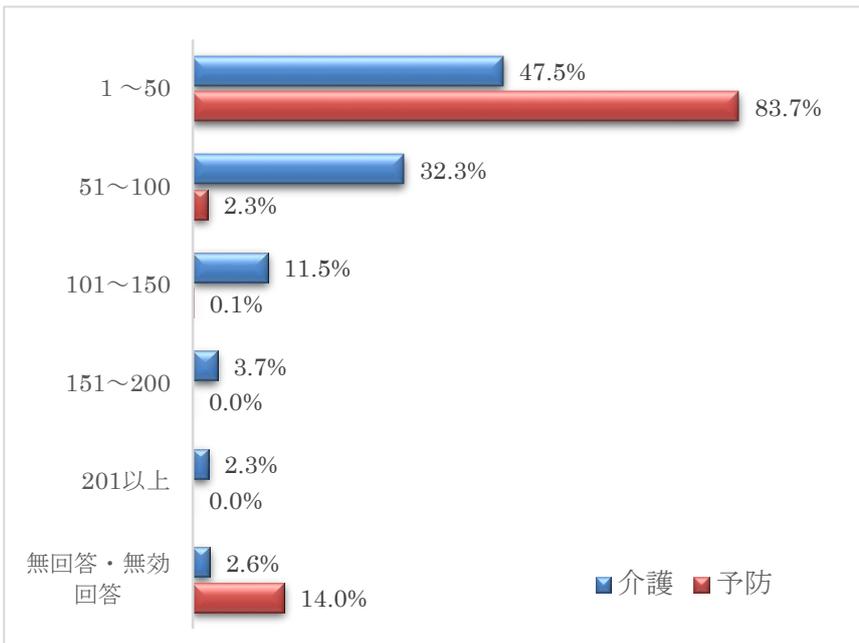
■その他（多かった回答）

1. 訪問看護ステーションと併設。	2. 整骨院併設。
3. 有料老人ホーム併設。	4. 在宅介護支援センター併設。
5. サ高住併設。	6. 介護保険事業所と併設。
7. 訪問看護事業所併設。	8. サ高住(訪問介護含む)併設。
9. デイサービス併設。	10. 訪問看護、看護小規模多機能。
11. 訪問介護と併設。	12. 障害相談支援。
13. デイサービス併設。	14. 包括と併設。
15. ケアハウスと併設。	16. 社協に併設。
17. 住宅型有料老人ホームと併設。	18. 地域密着リハ特化型デイ併設。
19. 訪問介護事業所と併設。	20. 薬局。
21. 訪問介護と併設。	22. 居宅サービス事業所と併設。
23. ケアハウス・デイサービスと併設。	24. 訪問介護、訪問入浴併設。
25. 老人ホームと併設。	26. 福祉用具と併設。
27. 地域密着とデイ併設。	28. デイ、ショート、併設。
29. 特定施設併設。	30.

Q4. 所属先にはあなたを含め何人のケアマネジャーがいますか。

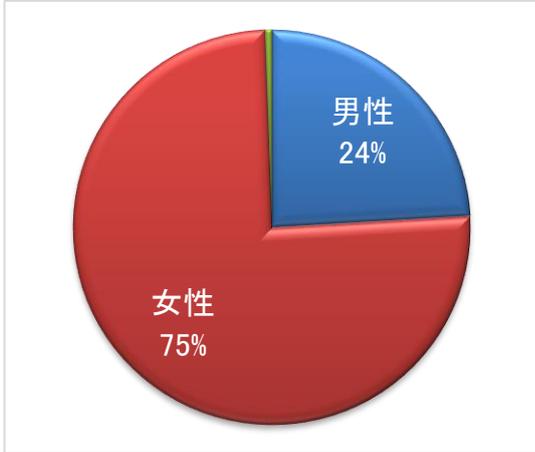


Q5. 所属先の全体の担当ケースは何件になりますか。(平成28年9月の給付管理数)



あなた（ご回答者）についてお尋ねします。

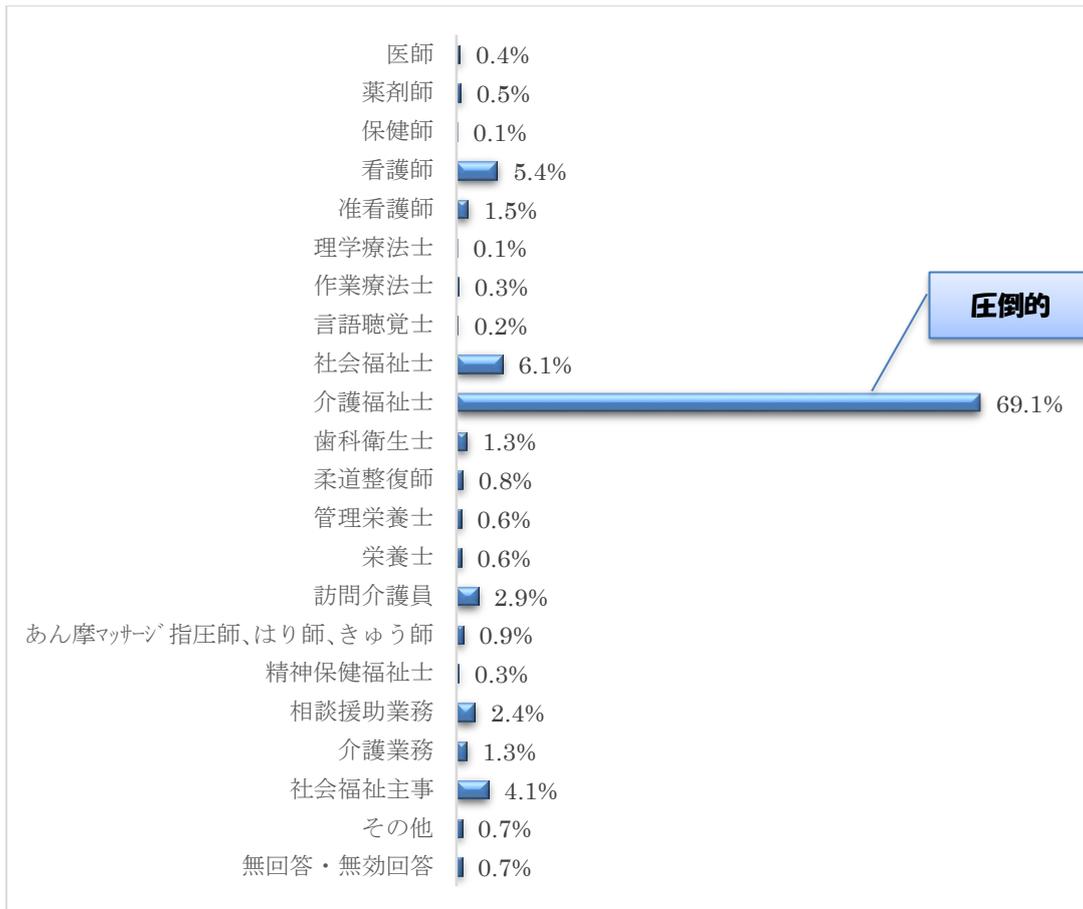
Q6. あなたの性別を教えてください。



Q7. あなたの年代を教えてください。



Q8. あなたの基礎職種を次の中から1つお選び下さい。

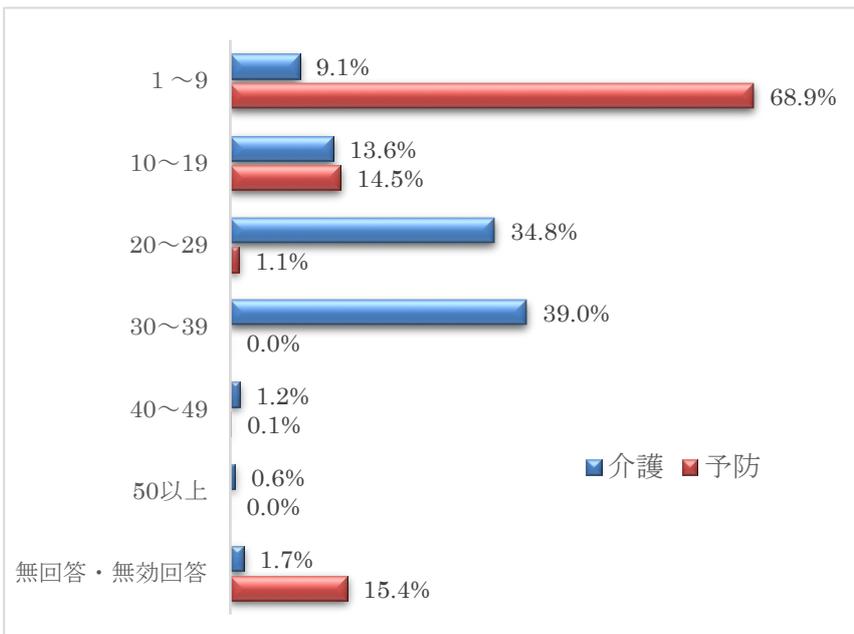


Q9. あなたのケアマネジャーとしての経験年数を教えてください。

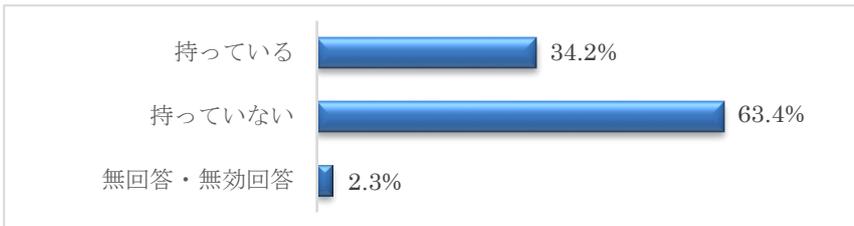
※今までの通算期間。業務を中断していた期間は含まない。



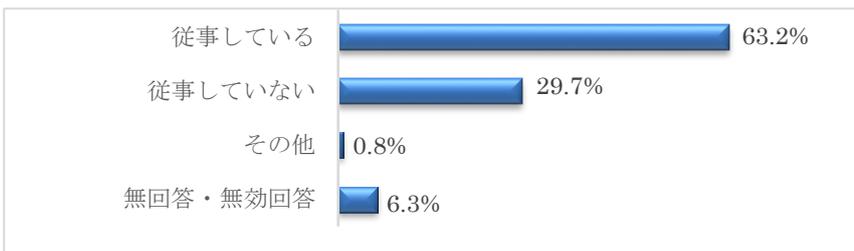
Q10. あなたの担当ケースは何件になりますか。(平成28年9月の給付管理数)



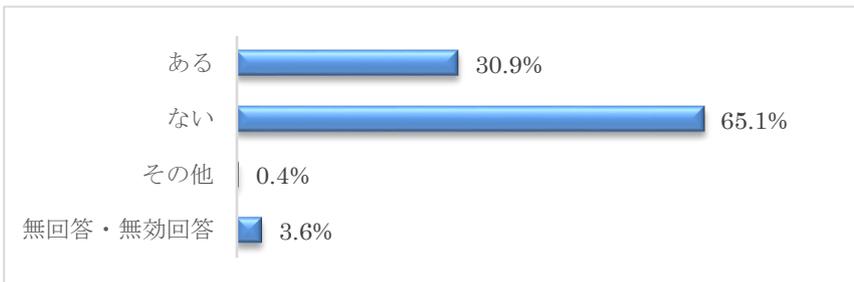
Q11. あなたは主任介護支援専門員の資格を持っていますか。



Q12-1. Q11で「持っている」と答えた方にお聞きします。
現在、主任介護支援専門員として従事していますか。



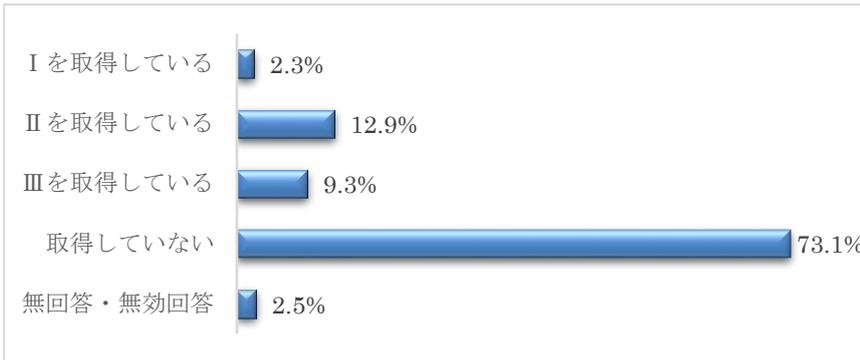
Q12-2. Q12-1で「1」と答えた方にお聞きします。主任介護支援専門員としての手当などありますか。



Q12-3. それはどのようなものですか。

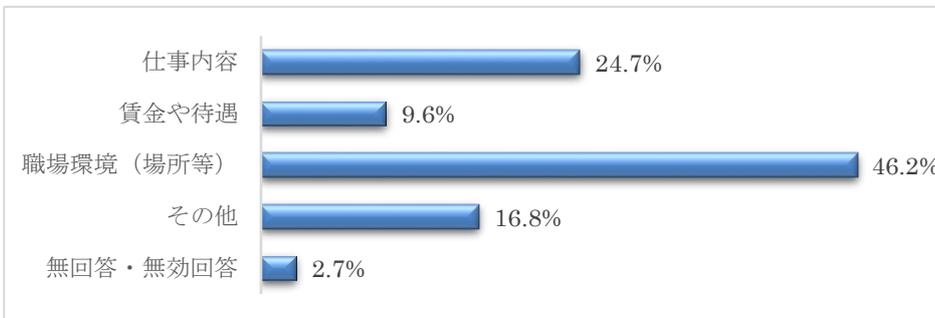
1. 月額固定。	2. 職務手当。
3. 年棒に反映。	4. 手当として3千円/月。
5. 資格手当。	6. 月1万円の資格手当がある。
7. 資格手当(管理者手当)。	8. 職務手当金。
9. 手当5,000円。	10. 1件につき500円の計算(全件数)。
11. 主任介護支援専門員資格手当。	12. 管理者手当。
13. 主任手当。	14. 主任になったときに昇格しました。
15. 資格手当(月3万)。	16. 役職手当。
17. 手当はあるが管理者なのでもらえていない。	18. 給与上乗せ。
19. 持ち件数で手当が出ます。	20. 管理職手当。
21. 毎月決まった額を支給。	22. 月2,000円。
23. 技能手当として毎月支給あり。	24. 資格手当1,000円支給。

Q13. あなたの所属先は特定事業所加算を取得していますか。



あなた（ご回答者）の労働環境についてお尋ねします。

Q14. あなたが現在の所属先を選んだ一番の理由はどれにあたりますか。

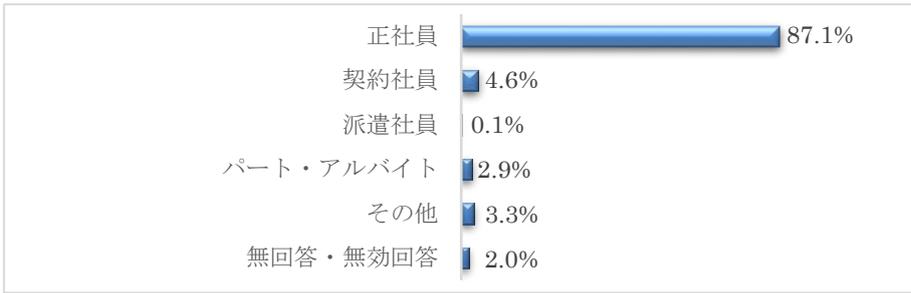


■その他

1. 知人が所属していて好意に甘えた。
2. 自宅から近いから。
3. 前職場で赤字部門だったので退職せざるをえなかった。
4. 尊敬する上司だったため。
5. 身内の介護のため。
6. 自分が経営している。
7. 人材紹介会社からの紹介。
8. 他に仕事がなかったから。
9. 自宅から近い。
10. 自分の自立支援のプラン提供したいため。
11. 独立開業のため。
12. 社会福祉法人で経営が安定しているところ。
13. 法人内の異動により。
14. 知人の紹介。
15. 友人と立ち上げた。
16. 薬局の開設者で介護事業もするため。
17. 事業所開設にあたり誘われたため。
18. 介護福祉士として働いていた職場。

19. 就業時間。
20. 休日数と家からの近さ。
21. 理念が実行されている。
22. 研修など多く参加でき、スキルアップを図れる職場だから。
23. 採用に積極的だったから。
24. 方針に賛同して。
25. 業務命令。
26. 自分のペースで仕事ができるから
27. 人間関係。
28. 両親が開設した施設だから。
29. ケアマネ業務を覚えたくて。
30. 初心者OKだったので。
31. リハビリ施設で ADL とは、について学びたかったから。
32. 医療法人で労働環境がよさそうだったから。
33. 介護職からの移行。
34. 毎年1回、リフレッシュ休暇を頂ける(8日～14日以内)自分の仕事に合わせた休みが取れる。
35. 開設当者。
36. 上司の人柄にて選んだ。
37. 以前同じ職場で働いていた方が立ち上げた。
38. 年齢的に雇用されることが難しく自分で立ち上げた。
39. 妻と一緒にちからを合わせてやるつもりで。
40. 自分で立ち上げたため。
41. 介護職からの異動(資格をとったため)。
42. 人事異動のため所属した。
43. 最初の居宅事業所が吸収されたため。
44. やりがいがある。
45. 前職場の仲間に頼まれて。
46. 自身で立ち上げた。
47. 社員教育の充実。

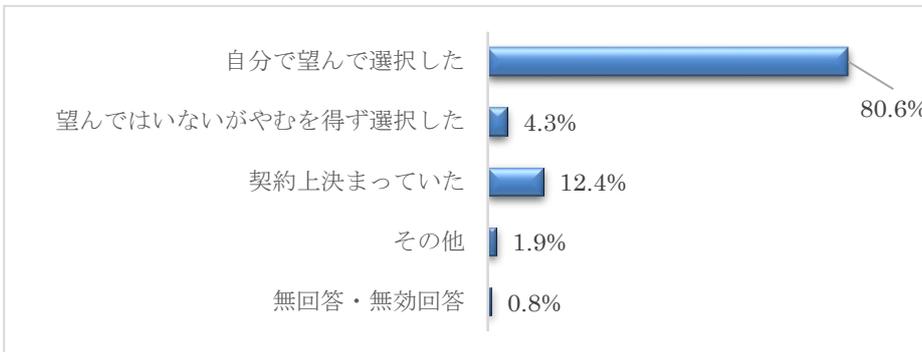
Q15. あなたの現在の就業形態を教えてください。



■その他

1. 経営者。	2. 臨時職員。
3. オーナーでもある。	4. 自分が雇用主。
5. 経営とケアマネ業務。	6. 嘱託。
7. 地域限定正社員。	8. 嘱託職員。
9. 準社員。	10. 取締役、居宅管理者。
11. 役員。	12. 代表取締役。

Q16. Q15の形態はあなたが選択（望んだもの）したものでですか。

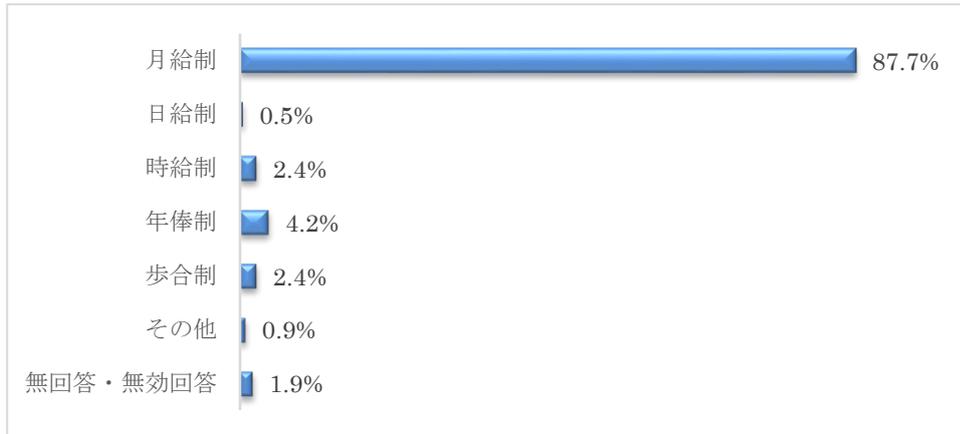


■その他

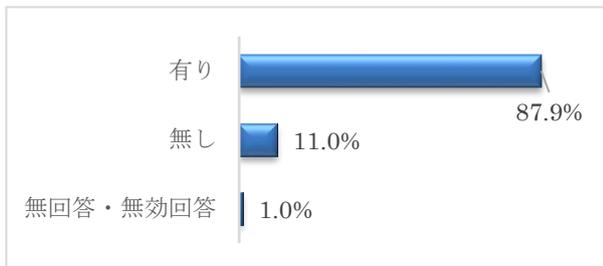
1. 経営者。	2. 依頼されて。
3. 正社員登用制度。	4. 独立した為。
5. なんとなく。	6. 60歳定年で再雇用のため。
7. 両親の薦めがあったから。	8. 契約以外の選択肢がない。
9. 働く場が得られず自分で仕事場を作った。	
10. フルタイムのパートだったが資格が取れたので正社員になった。	
11. 正社員で入ったつもりが、いつのまにか契約社員になっていた。	
12. 就職後に契約社員から任用がされた。	

Q17. 現在の所属先でのあなたの労働環境（待遇面）について教えてください。

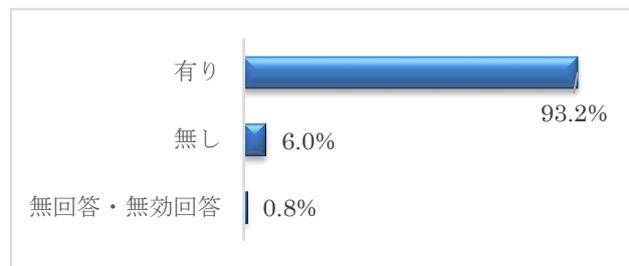
1) 賃金の形態



2) 雇用保険の加入



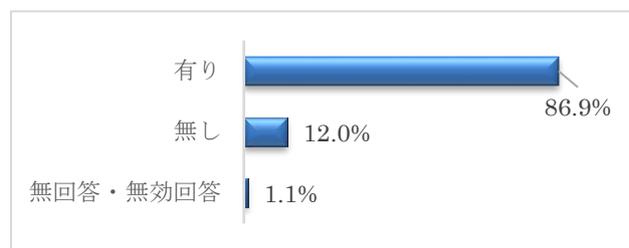
3) 医療保険料の加入



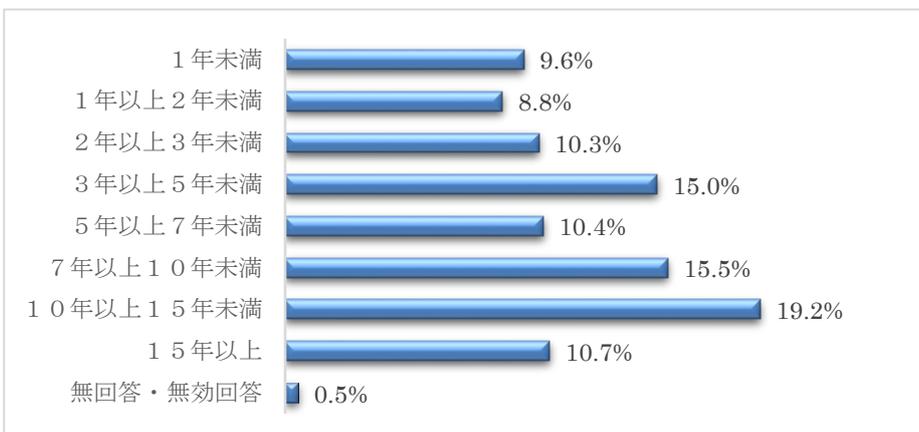
4) 厚生年金の加入



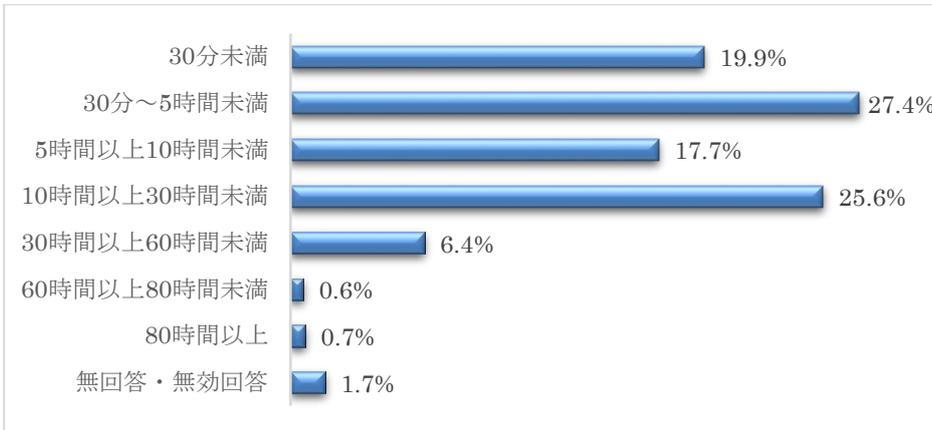
5) 通勤のための交通費支給



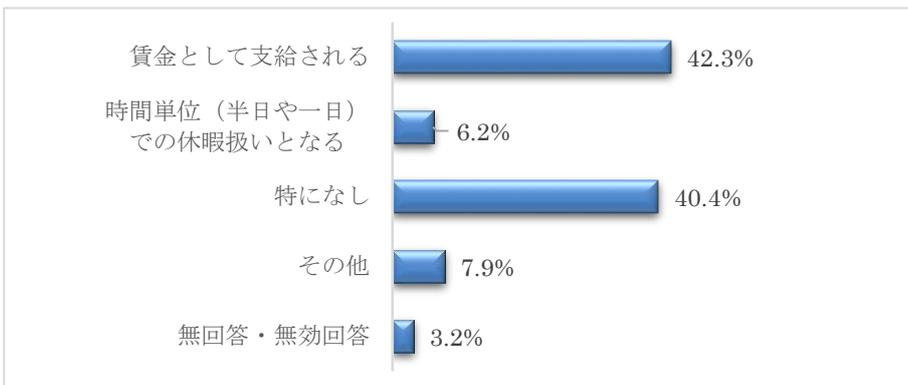
Q18. 現在の所属先に勤めてどのくらいですか（ケアマネジャー以外の期間も含む）。



Q19. 1ヶ月の平均残業時間はどのくらいですか。※休日も含む。



Q20. 上記のような時間外の場合、手当てなどの保障はありますか。

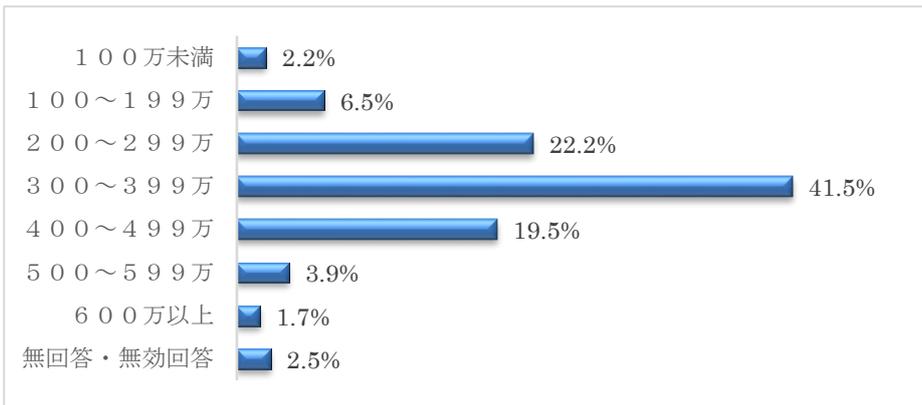


■その他

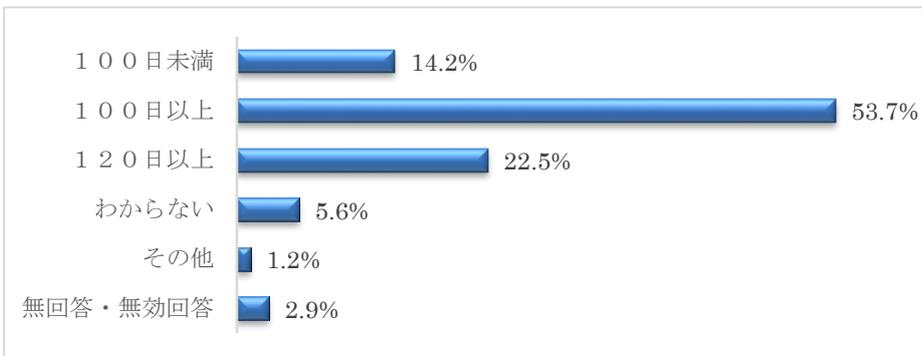
1. 「賃金として支給される」or「時間単位(半日や一日)での休暇扱いとなる」2選択。
2. みなし残業として固定で支払い。
3. 申請すれば可。
4. 上限あり。
5. 1日2時間残業込みの賃金となっている。
6. 職務手当てで定額。
7. 管理職なのでない。
8. 30時間を超えた分から。
9. もともと残業代含む。
10. 役員報酬のためなし。
11. 「賃金として支給される」「時間単位(半日や一日)での休暇扱いとなる」両方。
12. 管理者のため残業手当なし。休日出勤は限度あるが支給される。
13. フレキシブルタイム。
14. 10時間まで支給。

15. 代休。
16. 残業内容による。
17. 月に1、2回だけつく。つく時間は会社が決める。ほぼ毎日、勤務時間内には帰れない。
18. ボーナス無し。
19. 一定時間が認められる。
20. 時間数相殺で早退。
21. 遅番(2時間)の時はつくが、他は全くつかない。
22. 時間外手当。
23. 状況や内容により申告し、賃金支給。
24. 10時間限定で残業代。
25. 賃金に20時間含まれている。
26. 20時間まで支給。
27. 全部は申請しづらい。
28. あるが一定以上はとりにくい雰囲気。
29. 固定手当で定額。
30. 就業規則にはあるが手当としてもらったことはない。
31. 15時間分のみ。
32. 20時間分が給与に折込。
33. 30時間の見込み。
34. 現在、赤字決算。
35. 休日出勤のみ支給。
36. 上限2万円まで支給。
37. 20H迄給料込み。
38. 役職手当として支給。
39. 事前申請により支給だが、ほぼ申請できない。
40. みなし残業代はあるが、それを超える分は申請しにくい。

Q21. あなたの年収をお聞きします。※昨年（平成27年）の実態で教えてください。



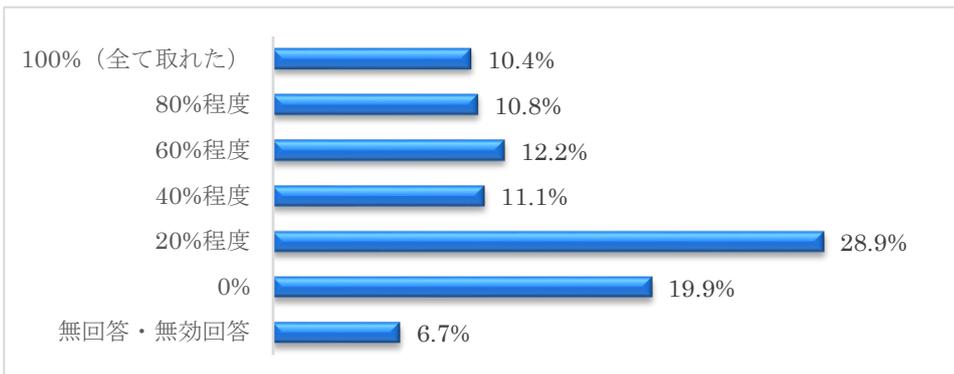
Q22. 年間の休日はどのくらいありましたか。※昨年（平成27年）の実態で教えてください。



■その他

1. 経営者。	2. 開所直後で休みが多くありました。
3. 1年に満たないため(開所、平成28年)。	4. 特に決めていない。
5. 60日前後。	6. 新規事業所のため予定124日。
7. 有休含む。	8. パートの為。
9. 昨年は勤務なし。	10. 育休で8ヵ月休み。
11. 土、日、祝休み。ほかに休みあり。	12. 公休すべては取れなかった。
13. 週休2日制、他は休みたいときに申請する。	14. 就業1年未満。
15. 土、日のみ休み。休日出勤手当なし。	16. 今年から転職したので昨年の実態なし。

Q23. 有給休暇はどのくらい取れ（休め）ましたか。※昨年（平成27年）の実績で教えてください。



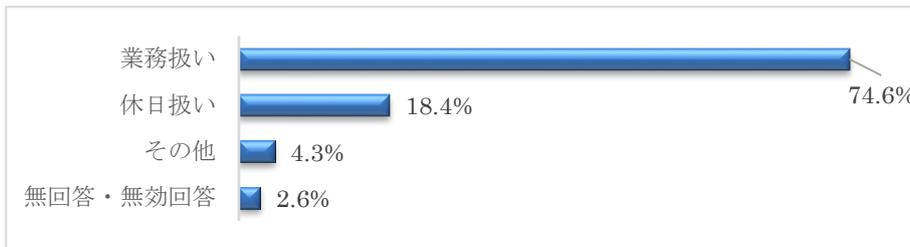
Q24. 平成 28 年度から介護支援専門員の研修制度が見直されました。カリキュラム及び時間数（日数）の大幅な増加に伴い研修費用も見直されております。そのような中において、あなたが法定研修等に参加する際の事業所での取り扱いはどのようになりますか。

※法定研修＝専門研修や更新研修などの法律で定められている研修

※自主研修＝それ以外の研修

1) 法定研修への参加の場合

①研修当日の扱い

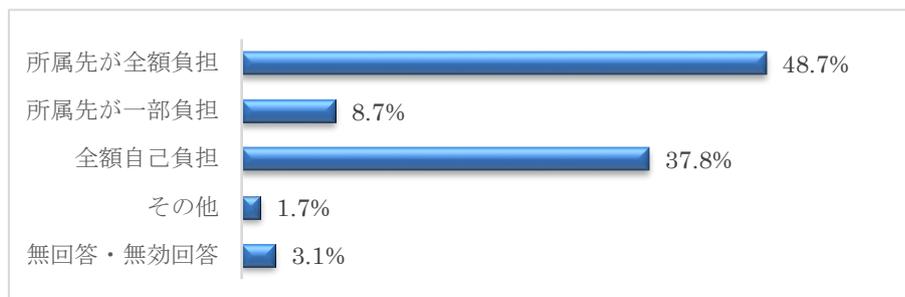


■その他

1. 勤務時間内は出勤扱い。自分で研修日程を調整する。
2. 半分出勤扱い、半分休み扱い。
3. 土日祝の場合は休日扱い。(多数)
4. 有給休暇を取得し参加。
5. 事業所が休業日の場合は休日扱い。(多数)
6. 特別休暇。
7. 土日祝の場合は休日扱い。
8. 日当支給。
9. まだ話し合っていない。
10. 有給扱い。
11. 不明。
12. パートは業務扱いにならないが、正社員はなる。
13. 業務日に当たった時は業務扱い、休日に当たった時は休日扱い。(多数)
14. 有休扱い。
15. ケアマネ更新(半分は業務、半分は公休又は有休)。
16. 年休扱い。
17. 半分は業務扱い、半分は休暇。
18. 自己資格なので全額自己負担、は当然だと思う。業務扱い。
19. 基本的には”業務扱い”だが日曜日に研修が入った時は”休日扱い”になる。
20. 1シフト中、数日間研修があった場合、会社が認めれば1日だけ業務扱いになる。
21. 営業日中の研修は業務扱い、休日の研修は休業扱い。
22. 研修が休日に当たれば休日扱い。
23. 同じ週に2回以上の研修がある場合2回目より業務扱い。初日は休日扱い。

24. 土日は休日扱い。平日は業務扱い。
25. 入社年月日(就労年数)によって扱いが変わる。
26. 今の事業所に勤務してまだ更新研修がないため不明。
27. 有給休暇をとり参加。

②研修費用の扱い

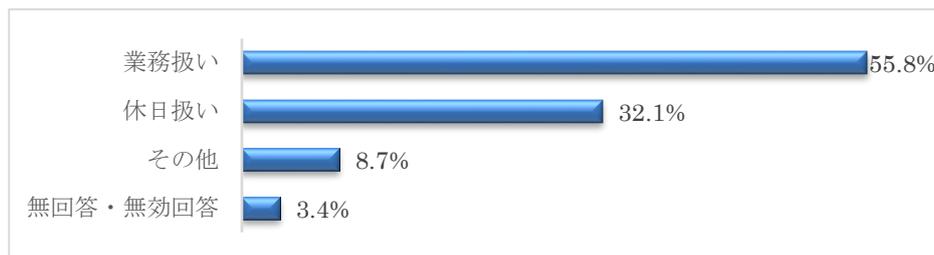


■その他

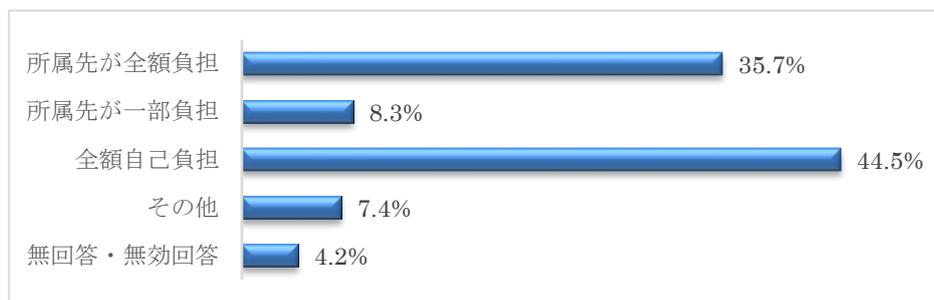
1. 交通費は支給(多数)
2. そのときにより違いますが基本的には事前に許可がでたものに限りに、受講後研修報告書提出義務あり。
3. 自分で自費か会社負担か選択。
4. 本人より申請すれば可能であるが1年間は、退職すると返金。
5. 昨年度より会社負担となりました。
6. 経営状況による。
7. 書籍代のみ自分で支払い、他は会社負担。
8. 無料の研修に行きます。
9. 更新後に所属先が全額負担。
10. 主人ケアマネの更新のみ半額補助予定。
11. 会社の要請で参加の場合は所属先が金額を負担するか、3年間在
12. すること。
13. 就労年数によって負担額が変わる。
14. 研修後1年勤務していたら一部支給。
15. 但し、4年以下の勤務者ならウ。
16. 交通費のみ支給。
17. 法定研修の最終研修期間であれば会社が全額負担。早めに研修を望んだ場合は全額自己負担。

2) 自主研修への参加の場合

①研修当日の扱い



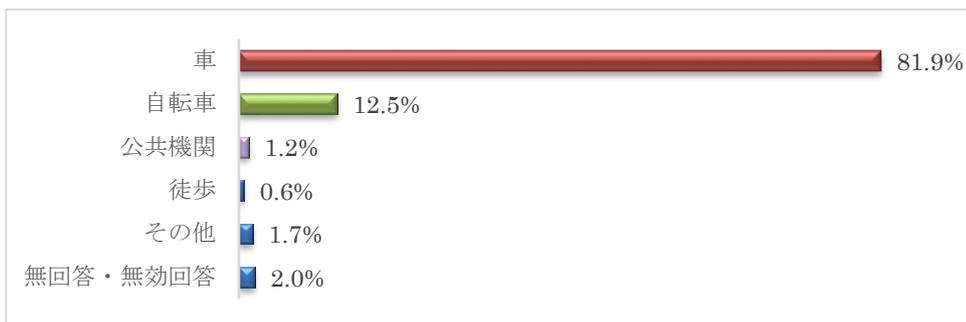
②研修費用の扱い



■その他

1. 内容による。
2. 研修の内容や主催者により異なる。(多数)
3. 1万円未満で申請許可が出れば負担してもらえる。
4. そのときの受講内容による。
5. 交通費のみ支給。ただし、市開催の場合は所属先が負担。
6. 研修の種類による。
7. 上司・代表の判断。
8. 費用が発生するものは不参加。
9. 申請すれば可能であるが請求していません。自分の為なので。
10. 研修により負担する。
11. 研修の認可がおりれば一部負担。
12. 法人から指示のあったものは所属先が全額負担。自主参加ものは全額自己負担。
13. 会社が必要と認めた場合は会社が全額負担。
14. 無料の研修に参加している。
15. 費用のかかるものは行うようにしている。交通費は支給してもらっている。
16. 無料の研修に行きます。
17. 費用が発生する研修のみ自己負担しています。
18. 研修内容や費用にもよる。
19. 管理者が認めた研修以外は自己負担。
20. 内容によって所属先が負担してくれる場合がある。
21. 認められれば所属先負担の場合もある。
22. 申請により補助制度あり。

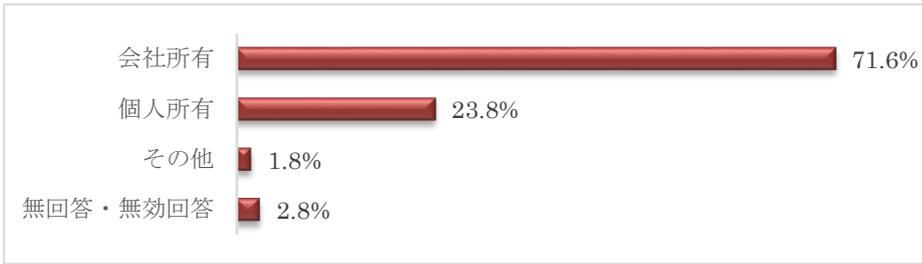
Q25. 業務中における訪問などの移動手段は主にどれですか。



■その他

1. 原付。
2. スクーター。
3. オートバイ、市内は徒歩やバス。
4. 自転車(会社所有)。
5. 2と4もあります。
6. 基本は送迎車が空いている時に使用、空いてない時は自車に対応。

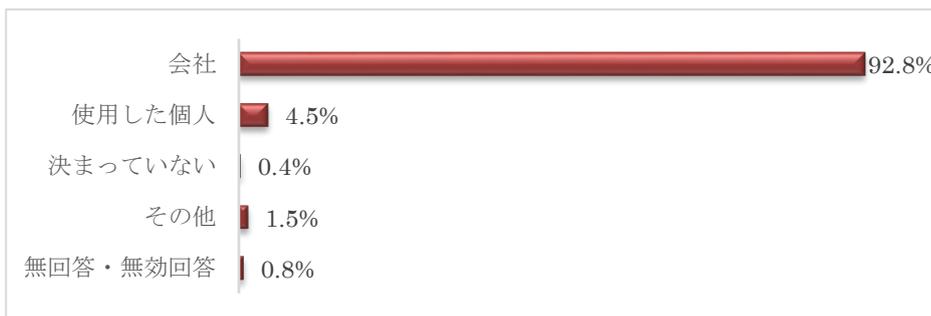
Q26-1. 25で「車」と答えた方にお聞きします。それはどなたのものですか。



■その他

1. 併用して使用。
2. ケースバイケース。
3. 両方。
4. 1.2 両方。
5. 会社所有の時と個人所有の時あり。
6. 会社・個人の両方。
7. 会社または個人。
8. リース。
9. 会社所有と個人所有 併用。
10. 基本は送迎車が空いている時に使用、空いてない時は自車で対応。
11. 会社の車を使用できる時がある。
12. 会社所有の車が空いていれば使用し、空いてなければ個人の車を使用する。
13. その時による。
14. 台数が限られているため個人のを使用する場合も多い。
15. 会社があいてない時は個人の事。
16. 時と場所により両方。
17. デイサービスとの共有のため 16 時になるときは個人(会社は認めていない)。
18. 社車優先だが不足。
19. 1.2 両方。
20. 会社、個人半々。
21. 数ヶ月前まで個人所有。現在は会社所有。
22. 直帰の場合等は自車。
23. 会社所有1台しかないため個人のも使用。
24. 会社の車があいていたら。

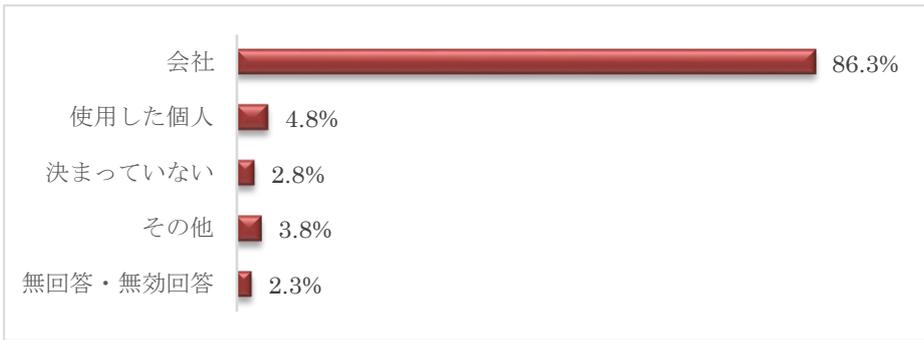
Q26-2. 25で「車」と答えた方にお聞きします。ガソリン代はどなたが負担しますか。



■その他

1. 車両手当に含む。
2. 1キロ×10円しかもらえず超えた分は自腹。
3. 5000円まで。
4. 按分。
5. 会社所有は会社、個人所有は使用した分を会社。
6. 自車の場合は自分持ち。
7. 会社の車はガソリン代が出る。
8. 申請すればガソリン代を出すことになっている。
9. 1キロ10円会社。
10. 移動距離×1L何円。
11. 1キロ単位で支給。
12. キロ10円会社。
13. 1キロ10円計算で会社もち。
14. 通勤費として出る。
15. 一部会社。
16. L=10円。
17. 自車使用時は自己負担。
18. 1* ₀ =定額、走行した分支給。
19. 半分。
20. 走行距離×20円。

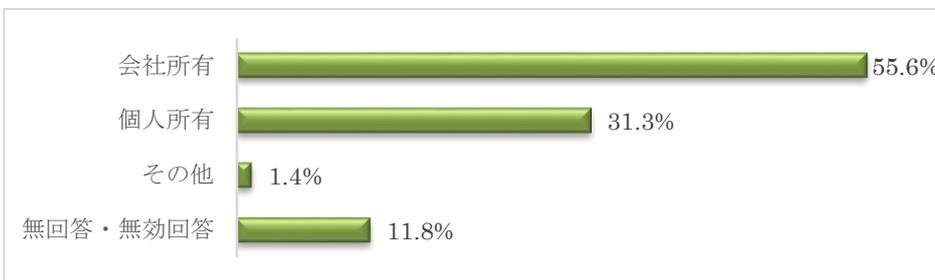
Q26-3. 25で「車」と答えた方にお聞きします。駐車場代はどなたが負担しますか。



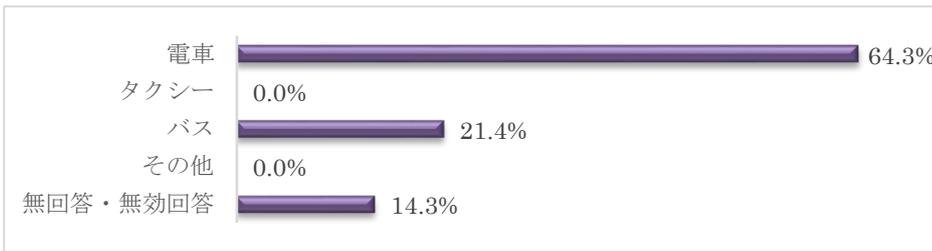
■その他

1. 法人敷地内のため駐車料金発生なし。	2. 代金無料。
3. 会社敷地内。	4. 利用したことがない。
5. 申請制。	6. 会社の敷地内の駐車場のため無料。
7. 車両手当として駐車場代込含め支給。	8. 未経験。
9. 無料。	10. 自前駐車場。
11. かかっていない。	12. ケースバイケース。
13. 自宅。	14. 請求すれば支払いあり。
15. 駐車場代金がかかったことない。	16. 駐車場代は発生しない。
17. 特になし。	18. 駐車場をとる程。
19. 駐車場代発生しない。	20. 会社の敷地内なので発生しない。
21. 駐車場代のかかる訪問先はない。	22. 発生しない。
23. 按分。	24. 駐車場代が発生したことがない。
25. 使用することがない。	26. 取られることがない。
27. 会社が認めたものは会社が出す。	28. 駐車場代なし。
29. 訪問先駐車場あるいは路駐。	

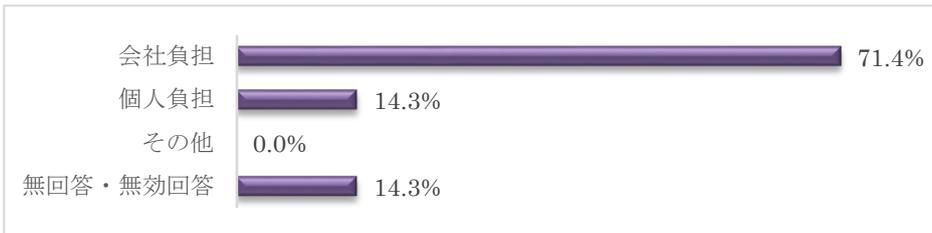
Q27. 25で「自転車」と答えた方にお聞きします。それはどなたのものですか。



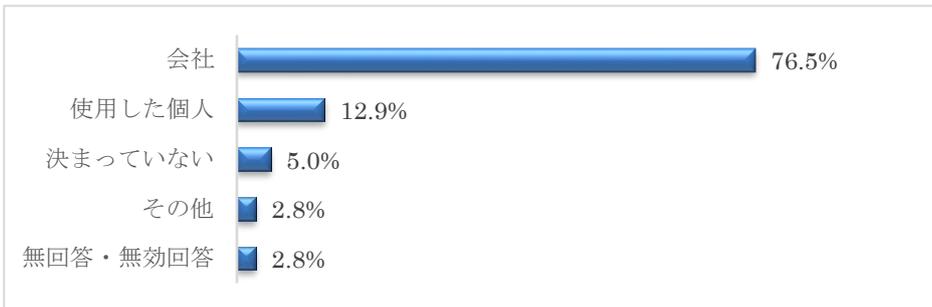
Q28-1. 25で「公共機関」と答えた方にお聞きします。主に使用するものは何ですか。



Q28-2. 25で「公共機関」と答えた方にお聞きします。費用はどなたが負担しますか。



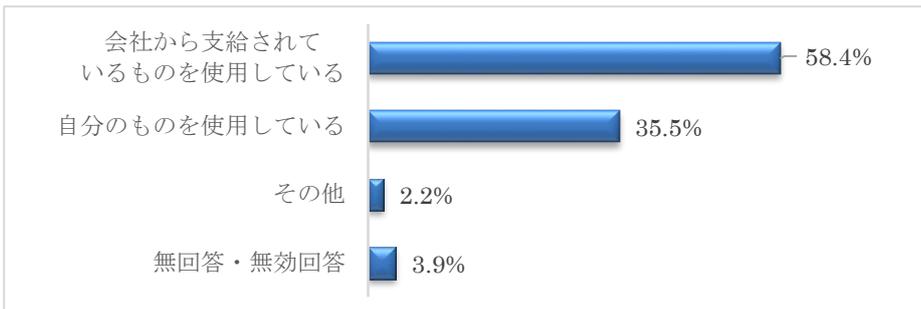
Q29 事故などの補償はどなたが負担しますか。



■その他

1. 不明。
2. 労災扱い時は会社。
3. 状況に応じて。事故原因による。
4. 基本は会社扱い、事故の内容にもよる。
5. 一部保険、一部個人。
6. 自分自身が起こした(自動車事故)に対しては自己責任。
7. 事故の過失割合により変わる。
8. 会社所有の車は会社、個人所有の車は個人。
9. 会社と個人で折半。
10. 車の事故は個人保険。
11. 内容により相談。
12. 事故の程度により決まる。原則会社負担。
13. 会社所有車は会社。自分の車は自分。
14. 免責が5万以下は自己負担。

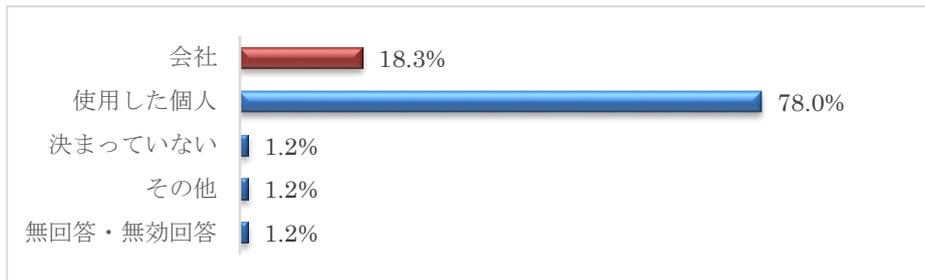
Q30. 業務で主に使用する携帯電話について教えてください。



■その他

1. 併用(1台を2名で共有しているため)。	2. 自分の携帯電話は使用していない。
3. 使用しない。	4. 業務では携帯電話せず、事務所からかける。
5. 夜間転送用のみ会社。	6. 会社内連絡等は自己携帯。
7. 携帯電話は使用しない。	8. 業務で使用しない。
9. 1と2を使用(使い道がちがう)。	10. 業務で携帯は使用しないと決めている。
11. 緊急携帯1台のみで全員には支給なし。	12. 管理者のみ自己負担。
13. 固定電話でまかなえている。	14. ディサービス用をかりる。
15. 両方。	16. 管理者のみ。
17. 管理者のみ支給。	18. 特定事業所緊急電話は会社、他は個人。
19. 使用していない。	20. 1と2。数が少ないので。
21. ない(買ってもらえない)。	22. 支給なし。会社の固定電話のみ。
23. 4名中1名のみ。	24. 会社から支給のものを併用。
25. 使用することがない。	26. 通話は会社、Eメールは個人。
27. 自己負担。	28. 専用に携帯なし。全部署で共有。
29. 常勤は会社携帯あり。非常勤は個人全て。	30. 携帯は使用しないことになっている。
31. 会社支給のものがあるが法人全体で使っているの。	
32. 会社から支給されるが 500 円だけ毎月自己負担。	
33. 会社所有のものが空いている時のみ使っている。	
34. 基本使用しない。緊急時フリーコールあり。	
35. 夜間、休日対応用一台は会社所有。自己所有の物と併用。	
36. 主に支給された PHS・繋がりにくい時は自分の携帯。	
37. 元々、携帯の料金プランがかけ放題になっていたため、負担は感じない。	

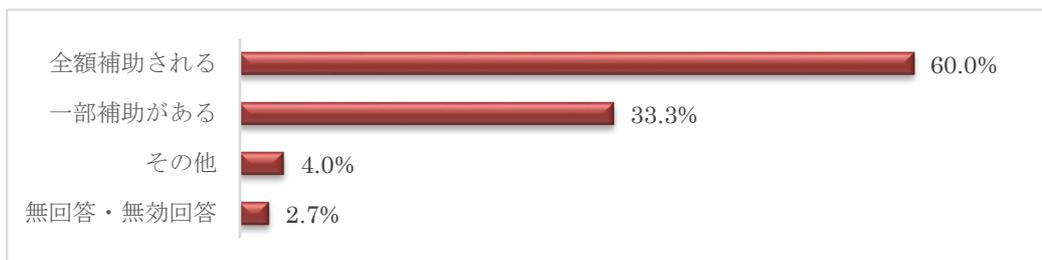
Q31. 30で「自分のものを使用している」と答えた方にお聞きします。使用した携帯電話の通信料はどなたが負担していますか。



■その他

- | |
|-------------------------|
| 1. 請求あれば会社が負担する。面倒で自払い。 |
| 2. 1ヶ月 1,000 円支給あり。 |
| 3. 会社と折半。 |
| 4. 会社と個人を割合で決めている。 |
| 5. 通信料として1ヶ月小額会社から支給。 |

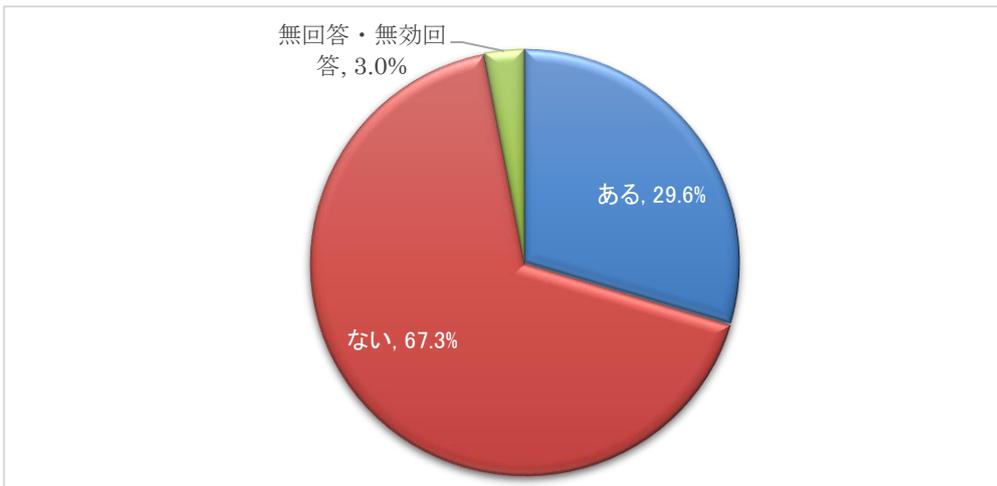
Q32. 31-1で「会社」と答えた方にお聞きします。会社がどの程度負担していますか。



■その他

- | |
|----------------------|
| 1. 管理者のみ自己負担。 |
| 2. 個人の携帯使用は自己負担。 |
| 3. 常勤は全額会社。非常勤は個人全て。 |
| 4. 個人携帯自己負担。 |

Q33 その他、業務上で私物をやむを得ず使用しているものはありますか。



■それは何ですか（品名など）

1. 文房具類・筆記用具(多数)	2. パソコン(多数)、プリンター。
3. ハンディスキャナー。	4. アイパット、ハンズフリー。
5. 靴(多数)	6. アルコールティッシュ、スリッパ、マスク。
7. 仕事用服、バック、備品。	8. 手帳、靴、細かい文房具。
9. 靴やユニフォーム。	10. バイク。
11. ファイル。	12. 事務用品全般(消耗品)筆記具など。
13. タブレット端末等。	14. 状況により自家用車、事務用品。
15. 事務所代金。	16. 事務用品。
17. プリンタ。	18. 本、手帳。
19. スキャナー。	20. 車。
21. 服。	22. ファイルなど文具の一部。
23. 防寒着、レインコート。	24. 携帯電話、スマホ。
25. 車。	26. 携帯及びインターネット。
27. PCの端末。	28. 雨具。
29. 自転車や車	30. 靴。
31. ケイタイ、バイク(ガソリン、駐車代)。	32. 時々、車。
33. 服。	34. 自分で使いやすいもの。文房具、ノートetc。
35. 参考書等の一部資料。	36. 自動車、コピー、パーキング代。
37. 事務用品(ペン、手帳、バッグ等)。	38. 携帯電話。
39. お線香代。	40. 筆記用具・携帯充電器。
41. 訪問カバン。	42. デスク周りの文房具、状況により自分の車、お客様用のお茶。
43. 電波の悪い地域では自分の携帯。	44. パソコン、マウス他、ボールペンなど。
45. 手帳。	46. 上着(コート類)、靴。
47. 自家用車。	48. パソコン。

49. ふせん。	50. オートバイ。
51. 自転車。	52. ipad。
53. 雨具(合羽、長靴など)。	54. スマートフォン(インターネットを使つての情報収集)。
55. マスク、消毒剤。	56. 携帯電話。
57. 手帳。	58. 制服。
59. 車、事務用品の一部。	60. バック、携帯電話。
61. 車(会社所有が足りないときに使用)。	62. 電卓。
63. 事務用品の一部。	64. 鞆。
65. 個人携帯、利用者の連絡用に。	66. 携帯、文具。
67. 筆記用具私用携帯(メール等)。	68. 休日の連絡用に自分の携帯電話。
69. 車。	70. 事務用品等。
71. スマートフォン(検索等)。	72. 個人の車。
73. 会社の車が使えず自分の車を使う。	74. バイク。
75. 扇風機、加湿器。	76. 携帯電話。
77. テレホンカード。	78. パソコン、自家用車。
79. 男性の制服がないので毎回自分で購入。女性はある。	80. 会社の車が出払っているときは自分の車を利用する。
81. 自分の会社だからいろいろ。	82. 携帯電話が個々にないので。
83. 車が空いているとき自分の車、ガソリン。	84. 携帯。
85. 携帯が1台しかなく私物を使う。	86. 文房具、USB、衣類(カーデガン)。
87. 車(訪問車が足りない)。	88. 筆記具、文房具小物。
89. 修正テープ。	90. サービスコード表。
91. 携帯電話。	92. 業務携帯以外の携帯電話使用。
93. スマートフォン、飲み物、鞆。	94. 外靴、鞆、文房具(ノート・手帳)、携帯。
95. ペン、クリアファイル、修正テープ、名ラベル、クリップ、輪ゴム、マジック、一筆便箋など。	96. 携帯電話、時々車。
97. ファイル、付箋、メモ用紙など。	98. 自転車。
99. 携帯電話。	100. 自家用車(社用車が足りない時)。
101. 車。	102. 冬季の外出上着、訪問バッグ。
103. 会社の車がデイで使用し使えない時。	104. 車が不足の時自家用車使用。
105. 日常的に使う文具など。	106. バッグ。
107. 自転車、車。	108. 事務用品全般。
109. 公用車がかち合っていない時はマイカーを使用。	110. 制服、自動車(事業所に1台のため)。
111. スマホのグループ LINE。	112. カップ、長靴。
113. ボールペンなどの事務用品。	114. 勤務での制服。

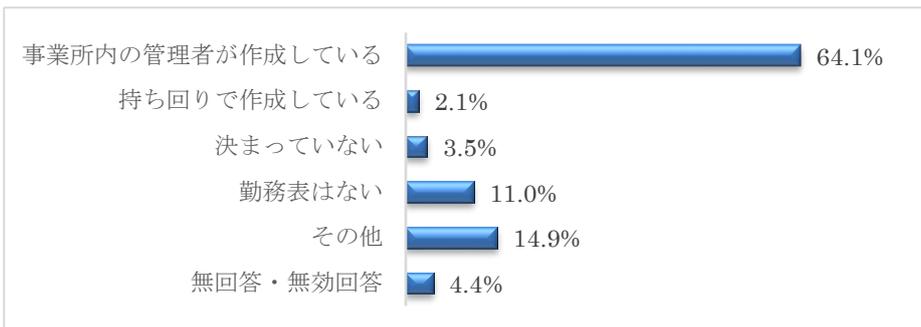
115. 車→どうしても公用車が空いていない緊急時は自分の車でガソリンも自己負担。	116. 自身の携帯。
117. 事務用品(一部)ボールペン、手帳。	118. 参考文献、文房具等。
119. 手帳、バッグ。	120. 車。
121. 雨合羽、カバン。	122. 私服。
123. 携帯、カバン。	124. パソコン、タブレット他。
125. ユニフォームにあたるもの。	126. 書類などを入れる鞆。
127. ノート、ボールペン等。	128. ボールペン。
129. ボールペンなど、消しゴム。	130. 制服。
131. カバン、上着等。	132. 制服がないので業務中の服。
133. ペンなど文房具。	134. 携帯電話。
135. スマートフォン、インターネット、メールなど。	136. 制服がないため、ズボン、ポロシャツ等衣類、スケジュールノート等文具類。
137. 文具、爪切り、工具、衣類。	138. 事務用品、カバンなど。
139. 移動に使うバイク(50cc)。	140. くつ、かばん。
141. 個人の携帯番号。	142. マスク、除菌クロス。
143. 車、携帯、文具(車は台数がない、携帯はやむを得ない時、文具は不足)。	144. スキャナー。
145. 休日対応時の家電話と自家用車。	146. コピー代。
147. ペン・手帳。	148. スケジュール帳、名刺入れ。
149. ファンヒーター。	150. 文房具類、車。
151. 文房具、ユニホーム。	152. メジャー、電卓。
153. ペンやテープ等。	154. 携帯、土日等の連絡。
155. 衣類。	156. 車(一人一台ずつではないため)。
157. コピー。	158. 制服。
159. スマホの地図アプリかナビ機能。	160. 車、携帯電話。
161. 長靴。	162. 直帰時の車。
163. 事務用品。	164. 服(一部)靴。
165. パソコン、基本テキスト、私服(ユニフォームがない)。	166. 携帯電話、車。
167. 合羽、防寒着(手袋など)。	168. パソコン。
169. 自転車。	170. かばん。
171. 携帯電話、かばん、雨具(レインコート)。	172. 車。
173. 文具類(会社をお願いをしても返事が遅い)。	174. 文具や手帳など。
175. 事務用品。	176. 車(台数が不足したとき、緊急で使用するとき)。
177. 業務用かばん。	178. 文具類、手帳類。
179. 服、エプロン、文房具、携帯電話。	180. バック。

181.会社の車が出払っていた場合、個人の車を使用する。	182. 朱肉、ゴム板。
183. ボールペン etc。文具。	184. 自転車。
185. 雨具。	186. ファイルなど事務用品の一部。
187. 訪問時のバックやジャンバー。	188. 筆記用具等。
189. ipad。	190. 文具、パソコン。
191. 計算機。	192. 車、携帯。
193. 車。	194. 見舞いのときの駐車場料金。
195. 一部衣類、かばん。	196. 消耗品。
197. 訪問車ないときに自家用車。	198. 自分の携帯(ショートメールができる)。
199. 名札フォルダー。	200. サービスコード本、電卓、メジャー。
201. 文房具類、USB、ファイル類等。	202. 文房具、資料、参考図書。
203. 携帯電話。	204. 靴、服、雨具、等。
205. マスク。	206. かばん。
207. パソコン。	208. ケアマネ統一。冬場の外回り暖対策にヒートテックのハイネックシャツ等。
209. 会社の携帯は共有のため、持っていないとき個人物。その他文具や訪問時のズボン等。	210. スマホでの業務中の検索等。
211. ケアマネジementの本。	212. パソコン。
213. たまにナビのための携帯。ごくたまに車。	214. パソコン(会社用もあるが、個人用もあり)。
215. 電卓など事務用品。	216. パソコン。
217. 文房具、ノート、ボールペン。	218. 事務用品、車。
219. 車、社有車不足の場合ガソリン代支給。	220. 場合により私物携帯。
221. 事務用品。	222. スーツ、ワイシャツ。
223. 文具類(ペン類、バインダー等)。	224. 暖房機器(小型のもの)。
225. 事務用品。	226. パソコン、コピー機、ファクス。
227. バック。筆記用具、資料。	228. 訪問先から直帰する場合自家用車。
229. ステーションナリー等。	230. パソコン。

Q34. あなたは所属先の就業規則をどの程度把握していますか。



Q35. あなたの所属先での勤務表はどなたが作成しますか。



■その他

1. 事務、事務担当者、事務員。(多数)	2. 個人で作成して提出。
3. 本人。	4. 各自。
5. 施設長。	6. 全員、休日が土、日、祝のため。
7. 事務長。	8. 担当決めて作成。
9. 一人なので自己管理。	10. 自分で作成し上司に了承を得る。
11. 法人社長。	12. 各自の希望をきき管理者が作成している。
13. 個人。	14. 自分で作成。
15. 自分で作成。	16. 自身で作成し管理者確認。
17. 法人内の他職種。	18. カレンダー通りのため。
19. 自らが管理者である。	20. 自分で書く。
21. 休まない。	22. 自主管理。
23. 自分が作成。	24. 併設施設の事務所。
25. 特定のスタッフが作成。	26. 他部署の施設長。
27. 法人事務。	28. 希望休を聞き(書類を回し)事務員が取りまとめている。
29. 希望をふまえ事務作成。	30. 個人が作成し管理者が確認。
31. 事務担当者が作成。	32. 自己作成(自己管理)。
33. 勤務表作成担当者。	34. 勤務表に捺印。
35. 自分で作成。	36. 公休日の日数のみ決まっている。
37. 事業所。	38. 事務員。
39. 施設長。	40. 自己管理。
41. 自分自身。	42. 自分。
43. 土、日、祝休み。	44. 個々が予定出入し課長が調整。

45. オーナー。	46. 全員で作成。
47. 各自業務で調整、全体の管理は管理者。	48. 自主自立で自分が作っている。
49. 部署長もしくは係り。	50. 自分。
51. ケアマネが2人なので2人の休みが重ならないよう2人で相談して作っている。	52. 自分自身で作成。
53. 営業日が勤務日。	54. 希望休を2日入れ、そのほかは話し合い。
55. 各自記入。	56. 自分で。
57. 自己作成。	58. 所属先病院の事務。
59. 法人事務。	60. 自分で作成している。
61. 事業所内の相談員。	62. 自己管理。
63. 事務長。	64. 各自が休みを入れる。
65. 特養相談員。	66. 希望を出し、事務が作成。
67. 私は1人ケアマネなので訪問看護部門は管理者が作成。	68. 事務員。
69. 管理職。	70. 会社の定休。
71. 自分で作っている。	72. 自身。
73. 希望や他ケアマネと相談して事務所に提出。	74. 個人。
75. 事務次長。	76. 土日・祝日(休)他私用は有休。
77. 管理者ではなく主任が作成している。	78. 自営なので仕事量による。
79. 担当者が作成。	80. 自分で決めている。
81. 自己作成。	82. 各人出勤簿をつけている、ICカードで出退勤管理。
83. 本社。	84. それぞれで作成。
85. 本社で作成している。	86. 個々で作成。
87. 個人ごとに作成。	88. 施設・管理者。
89. カレンダー通り。	90. 自己作成。
91. 各自で休みたい日を入力してもらい、4名全員が休みにならないよう調整する。	92. 自分で作成。
93. 個々で調整し公休日を決めている。	94. 社長。
95. 公休、有休も自分で記入している。	96. 法人内シフト担当者。
97. 事務の方。	98. 年間営業カレンダーに沿って毎日、業務日報を作成。
99. 本人。	100. 自己作成。
101. 考慮して作成する。入力は事務。	102. 総務管理係りの職員。
103. 併設事務所の管理者が一元的に作成。	104. 個人で作成。平日で公休が重なった場合は話し合い。
105. 病院の師長。	106. 社長。
107. デイ主任。	108. データ入力(自分で行う)。
109. カレンダー通り。	110. 本社。
111. 事務所で作成。	112. 会社で休みが決まっている。
113. 皆で相談して。	114. 3名で各々調整。
115. 担当が集計。	116. 二人なので相談して決めている。

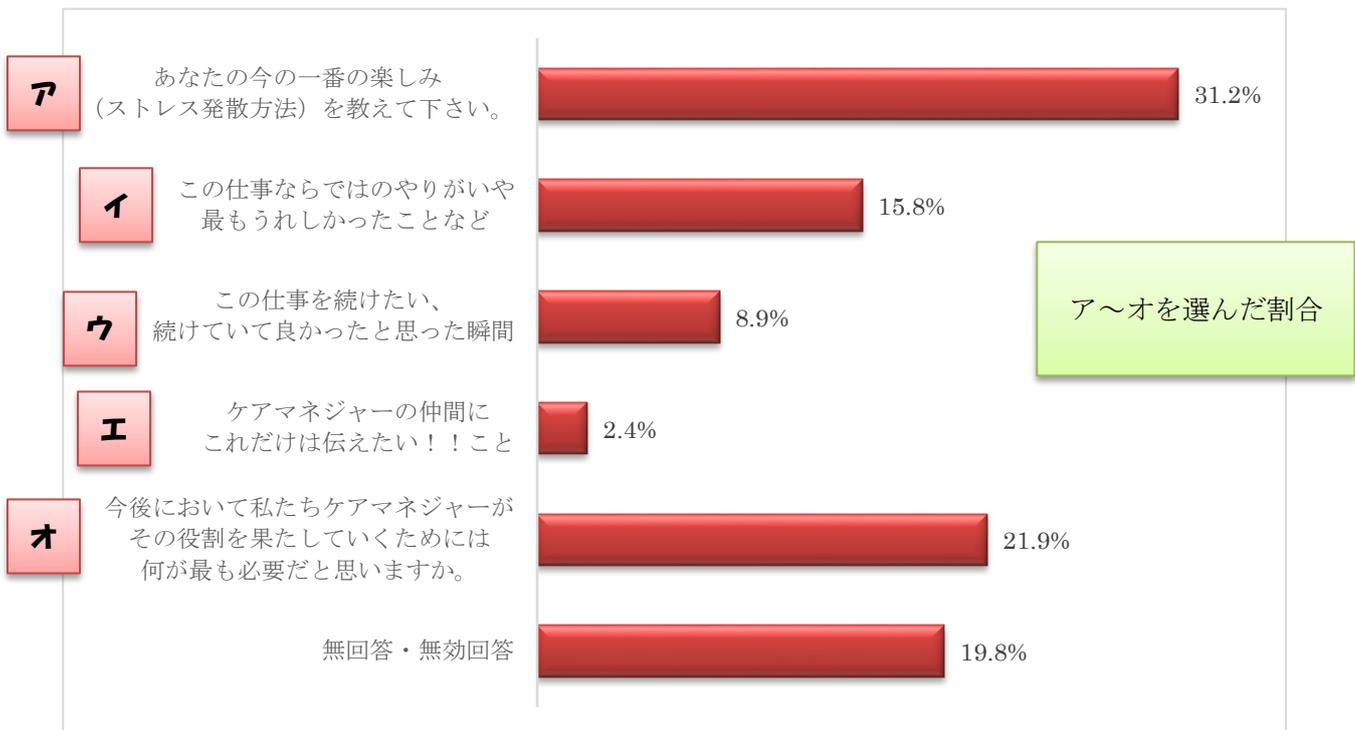
117. 主任が作成。	118. 出勤時自分で記入。
119. ケアマネ二人で相談して。	120. 個人。
121. 総務。	122. ルールのもと自己作成。
123. 事業主。	124. 法人内の上司が作成。
125. 各ケアマネにまかせている。	126. 事務職。
127. 自分でシフト調整。	128. 自己管理。
129. 事務員さん。	130. 勤務表はない。土日が休みのため。
131. 施設長(住宅型有料の)。	132. 代表が作成している。
133. 一緒に仕事をしているケアマネと話し合いながら 休日、有休を決めています。	134. 事務職担当。
135. それぞれ個人で社の一覧に入力している。	136. 事務。
137. 事務員。	138. フォーマットに自分で入力。
139. 自己管理。	140. 施設の事務長。
141. 公休、有休とも自分で記入している。	142. 係長が作成。
143. 事務員。	144. 事務。
145. 本人。	146. 担当者(管理者以外)。
147. 個人。	148. 事務。
149. 社長。	150. 自己作成。
151. 作成担当が作成。	152. 事務員。
153. 事務員作成、管理者確認。	154. 個々で記入し管理者が調整。
155. 各自で作成し管理者が確認。	156. 原則週休2日。土日祭日休。タイムカードあり。
157. 各自週 40 時間勤務で作成。	158. 総務。
159. 自分で作成。	160. 自己管理(パソコン)。
161. 自分で。	162. 本人。
163. 法人で作成。	164. 事務方が作成している。
165. 医療機関の事務。	166. 各自自分で作成。

Q36. あなたは千葉県介護支援専門員協議会の会員ですか。



Q37. 自由記載欄 次の中から好きなもの一つを選び、そのことについてご自由にお書き下さい。

項目	テーマ
ア	あなたの“今の”一番の楽しみ(ストレス発散方法)を教えてください。
イ	この仕事ならではの“やりがい”や“最もうれしかったこと”などを教えてください。
ウ	この仕事を「続けたい」「続けていて良かった」と思った瞬間はどんな時ですか。
エ	ケアマネジャーの仲間にこれだけは伝えたい!!こと(成功談や失敗談など)。
オ	今後において私たちケアマネジャーがその役割を果たしていくためには何が最も必要だと思いますか。



ア あなたの“今の”一番の楽しみ(ストレス発散方法)を教えてください。

1. 駆け出しのケアマネです。休日も「何か忘れていないか。これで良かったのか」などと自分の仕事に対して不安がつきません。休日は家にいて暇をしていると、そんなことばかり考えてしまうので、なるべく出かけるようにしています。
2. ケアマネ仲間と2ヶ月1回位集まり食事、お茶をしています。
3. ショッピング、映画、ライブ、飲み会……etcで、休みの日は仕事のことを思い出さないようにする。
4. 山登り。
5. ゴルフのコースに出ること。
6. マラソンレースに参戦しています。
7. 友達と会うこと。
8. 時間が空いたら仕事する。たまると一番大きいストレスになるから。
9. サークル仲間とのバレーボール。

10. ストレス発散方法は、ウォーキングをしたり体を動かすこと。ケアマネは運動する機会が少ないため。
11. 犬の散歩のみ。
12. 旅行。
13. ペット(猫)と遊ぶこと。
14. 子供と遊ぶ。
15. スポーツ観戦に行くことです。(プロバスケット)
16. 子供のサッカーの応援とお酒を飲むこと。
17. ストレス発散がないので精神科へかかっている。
18. 趣味の時間に没頭している時。
19. 運動してストレスを発散する。
20. 犬の訓練。今年は千葉県警の警察犬の試験を受験します。
21. 映画をみること。
22. 犬と散歩。
23. ケアマネの仕事柄、運動不足になります(車での移動のため)。1週間に2~3回ジムに通って汗をかきます。時間は20~30分なのですが、膝痛、腰痛もよくなっており、筋力って大事だと痛感しています。自分にとってはリフレッシュになっています。
24. ヒラメ釣り。
25. 飼っている猫とのたわむれ。
26. 仕事以外の楽しみを持っていることで、この仕事をなんとか続けていると思っています。
27. 休日などに好きな車(マイカー)でドライブしてストレス発散することです。
28. 旅行。
29. 山に登ること(月1回、夏には富士山4~5回)、マラソン(年2回フルマラソン出場)、好きなアーティストのライブに年4~5回行くこと。
30. 酒。
31. 子供の成長と食事会。
32. 休み前日にお酒を飲むこと。散歩しながらラジオを聴くこと。
33. 登山。登りながら「一歩ずつ足を運べば目的地へ着く。仕事と同じだ」なんて考えながらのときもあります。達成感も共通しています。
34. 休日のcafé巡り。旅行等。
35. 仕事帰りの立ち寄るスポーツクラブでストレス発散しています。ほぼ毎日1~2時間汗をかき、仕事とは関係ない人との会話を楽しんでいます。
36. 休みの日にスポーツをすること。
37. 休日に体を動かしたり出かけたりすること。
38. 友達と飲みにいったり映画をみたりすること。
39. ストレス発散のために、ウォーキングをしながらバードウォッチングをして、自然に触れる機会を持つようになっています。
40. 家族と過ごす時間。
41. 1日1時間でも好きなテレビ番組を見る事。

42. 子供と遊ぶこと。
43. 子供と一緒にサッカー(コーチと選手)、サッカー観戦。
44. 子供の成長や家族と過ごす時間が楽しみです。
45. 子供の野球。
46. 休みの日にハイキングや旅行を楽しみにしています。緑を見たり温泉に入ったりリフレッシュしています。
47. 趣味を持つ、友人の存在。
48. 休みの日などにはデパート、ショッピングモールなどに行き気分転換を図っている。
49. 同僚のケアマネとマラソン大会にエントリー、完走するため練習内容話し合い、励まし合う事です。
50. 植木いじり。
51. 晩酌のビール。
52. 子供が所属しているクラブチームのサッカーの試合を見ること。子供たちや夫、家族で過ごす時間、このために頑張れます。
53. 登山。
54. 仕事とは全く関係のない友人達と会うこと。
55. カラオケ。
56. 寝ることです。
57. ペットと遊ぶこと。
58. 同年代の人との食事会や旅行です。
59. 自分の仕事に関係する資格の取得の勉強。
60. 一番の楽しみは旅行に行くこと。仕事を忘れリフレッシュする時間も必要。仕事も遊びも頑張ることがモットー。
61. 釣りに行くこと。
62. ジョギング等の運動をすると嫌なことを忘れられる。
63. 有休を取り、旅行に行つて気分転換を図ること。
64. 休日にゆっくり体を休めること。
65. 愛息子(1歳半)と過ごすこと。
66. 職場の仲間とお酒を飲むこと。
67. 筋肉トレーニング。
68. 犬との散歩。
69. 月2回、肩こり、腰痛のマッサージを受けている時、休日に家族と出かける事。
70. 食べ歩き、ぬり絵、よく眠ること。
71. 寝る。
72. 週1日、水泳をすること。ただ、業務後に行うため忙しい月は一度も行けないことがあり、行けない日が続くとストレスになりますが・・・。
73. 主人と終活、日帰旅行や1泊2日の旅行に行っています。孫に会いに行くのが楽しみです。
74. 山に登る、おいしいものを食べる。
75. 年1回の海外旅行。

76. 会社の仲間と一緒に食事に行き交流を持つこと。
77. 旅行。
78. 子供と遊ぶ。
79. 休日に自分の趣味や好きな事をする。特に旅行が好きなので年に2～3回行きます。
80. 仕事を忘れ旅行すること。
81. スポーツ。
82. 旅行に出かけたいが休日に電話や緊急が発生し出かけにくい。
83. 水泳、ウォーキング、いつでもやさしく迎えてくれる愛犬2匹。仕事で精神的に限界と感じたら無理せず仕事をセーブして休むこと。この仕事は自身が元気でないと続けていけない。
84. 親しい友人たちとおいしい食事が楽しめる店でお酒を飲みながらたっぷり食べる時間が幸せに感じる。
85. 休みの日にガーデニングをし、仕事のことを忘れるようにしています。
86. 休日好きなことをして過ごす。
87. ケアマネとの月2回の食事会、ケアマネ以外の友人と2ヶ月に1回、飲食しながらのおしゃべり。
88. 仲間に愚痴を聞いてもらう。
89. 愛犬を撫でて過ごすこと。
90. 畑で野菜を作る。
91. 休みの日にテニス。
92. 中学、高校の友人中心にバスケットボールを毎週行っています。年齢的、体力的にも厳しくなってきましたが、仕事上の利害関係を全く考えることなく、昔の友人たちと過ごせる環境は私にとってのストレス発散となっております。
93. 仕事を月～金までしっかりやり、土、日に子供たちとたくさんふれあい遊ぶこと。
94. 定期的にゴルフや麻雀をして発散。
95. 映画を観ること。
96. 子供の成長。
97. 趣味に没頭すること。
98. サーフィン、バイク。
99. たっぷりの睡眠。
100. 自分の趣味であるテニスを思い切りやるのが気持ちの切り替えができ仕事に専念できる。
101. 趣味で体を動かすこと。
102. オカリナの練習とボランティア。
103. 休日は子供と遊んだりして「とにかく仕事のことは考えない」ようにしています。テレビで認知症のことなどやっていたら他を回します。
104. 子供との時間(サッカー観戦)。
105. お酒。
106. 猫と戯れて遊ぶこと。
107. 月2回仲間たちとゴルフに行くことが何よりの楽しみで日々頑張っている。

108. 休日の午前中、家事が終わったあとの喫茶店での息抜き。
109. 仕事以外の仲間との雑談。
110. ケアマネになりPC作業が多く、体を動かす機会が減った。運動することが一番の楽しみ。
111. 休日に仲間と楽しむテニス。
112. 休日に映画を観たりドライブをしたりしている。趣味の書道を楽しむ。
113. 猫と遊ぶ。いやされてストレス発散というか仕事のことを忘れられる。
114. 登山しています。断崖絶壁を何も考えずに登ること。
115. 自然の中でコーヒーを飲みポーと何も考えず過ごすことです。
116. 子供と近くのショッピングセンターにいき、おいしいものを食べること。
117. 買い物したり、美味しい食事を食べにいたりする。カラオケをして唄う。
118. パチンコ。
119. 発散しなければならぬほどのストレスは感じていません。好きな人(友人・家族等)と普通にすごしているのがたのしいです。
120. 自分の健康が第一。休みの日は極力、仕事から離れ身体を動かすことです。(電話は入りますが)
121. 愛犬との散歩。
122. ストレス発散法は寝ることです。対人援助業務はとにかく精神が疲労します、何も考えずにひたすら眠ると大体は嫌なことも忘れます。
123. 好きなアーティストのコンサートに行くこと。
124. 食べて、しっかり眠ることだと思います。ストレスがたまります。
125. スノーボード、温泉。
126. 友達との外出、食事、温泉、ゴルフに行く。
127. 規則正しい生活。定期的にプールに行き運動しています。毎日人間関係の調整や人の悩み、相談を聞いて自分と照らし合わせることで、自分のがんばっている、人の役に立っていると感じる時にストレスが発散します。大事なことは習い事を見つけることです。
128. 仕事とプライベートをきっちり分ける。平日がどんな遅くとも休日は出社しない。趣味をたくさんもっている。①読書、②フィットネスクラブ、③スポーツ観戦、④パッチワーク、⑤ダイエット、⑥買い物、⑦旅行・温泉、⑧博物館めぐりなど。
129. ストレスを溜めないよう事務所のドアを出たら仕事のことは考えないようにする。夕飯は何を作ろうかと家事に没頭する。
130. 家に戻ってゆっくり夕食を食べるとき。
131. 休日に自身の趣味の活動をする。同じ仕事をしている友人と話をする。
132. 寝ること。ポジティブなことではないのが残念には思っています。
133. おいしいものを食べる、お酒を飲む、子供と遊ぶ。
134. 家庭菜園。
135. 余暇の時間、ドライブ。
136. 妻との小旅行や買い物。
137. 山登り、ツーリング。
138. 一番の楽しみはワンコ散歩と温泉旅行。これをセットでできる旅です。

139. 映画鑑賞、ドライブ。
140. 休日に好きな読書をして過ごしたり時々旅行に行くこと。
141. 仕事に全く関係のない本を読むこと(田辺聖子、村上春樹他)。
142. 趣味で野球に行ったり子供とキャッチボールやサッカーを行うことがストレス発散になっております。
143. 登山をして素敵な景色に出会い気持ちをリフレッシュしています。
144. 楽しいお酒を飲むこと！
145. ダンス。
146. パソコン業務が多いため肩こりがひどく、ストレス発散にもなるので週3回はホットヨガに行くようにしている。
147. この仕事はとてもストレスが多い仕事だと思います。利用者にとありがたがられる時も多いですが反対の時もあります。そんな時は旅行、すべてを忘れて家から出ることが一番です。
148. 利用者と歌うこと。
149. ウォーキング。
150. ガーデニングです。今はバラの剪定や球根の植え付け等。水仙の目が出てくると楽しみが増えます。雑草を抜くことも好きです。土づくりをしていると無心になれます。
151. 友達と食事。
152. DIY、料理。
153. 仕事外の友人と会食、雑談。
154. バレーボール、フットサル。
155. 録画したテレビドラマを観る事。
156. 加算を取っているため 24 時間対応で利用者からの電話はさげられません、休みの日は演劇鑑賞や美術館巡り等、なるべく仕事のことを考えないようにしています。
157. 仕事上で悩んだ時は事業所のケアマネ又は友人のケアマネに相談し一人で悩まないこと。また休日に仕事のことは忘れる事。
158. 一日のやらなくてはならないことを全て終え、”あーもうこれで寝ていいんだ！”とベッドに横になるその瞬間が一番楽しみです。
159. ペット(犬)を連れて旅行に行くこと。
160. 休日を家でのんびり過ごす事。
161. 気の合う仲間とにぎやかに騒ぐこと。
162. ストレス発散方法、オン・オフ区別、有休使用等による余暇活動(ゴルフ・旅行)。
163. 今回、結婚のために引っ越すので実家にて大量の物の片づけを思いきって行っています。今まで手を付けず溜め込んでしまっていたのでスッキリします。
164. 動物に触れあうこと、食べること。
165. ホットヨガ、バトミントン。
166. きちんと休みを取り、温泉施設で身体を温めたり、好きな音楽、本を楽しむ時間を持つこと。
167. スポーツを行って汗をかいたり、大声を出してストレス発散、ライブに行ったり、野球観戦などでも気分転換しています。

168. 常勤勤務を卒業し非常勤として勤務している今、時間に余裕ができ 特に早起きせずとも出勤までに家事を全て終える。私にはそれがストレス発散となっており、またゆとりがある中で寄せ植えにはまっている。自信はないが職場や友人宅に定期的に(枯れる頃)交換に行く。もちろん自宅でも作品を見ている時が癒しとなっている。
169. 家族や友人と美味しいものを食べること。
170. 早めに布団に入って本を読む。
171. 家族や友人と旅行や食事に行く。
172. 自宅や職場での可愛い動物たちとのふれあい。
173. 夫との旅行、しかし自営ということもあり24時間対応できるようにしているため、旅先にも電話がかかってくることもある。常に仕事がついて回る意味では、気が休まらないことが多い。自分で開業は良し悪し。
174. (※趣味→ママさんバレー、エレクトーン、SAX) 自宅兼事務所での仕事のため、2、3ヵ月に一度、週末に旅行に行き、完全オフの日を作るようにしている。
175. 歴史が好きなので史跡めぐりをする。特に山城が好きです。
176. 庭の手入れ。
177. 漫才などお笑いを見ること。
178. 飲んで、歌って、友達といっぱい話す。
179. 夕方のサーフィン。
180. おいしいワインを見つけること。
181. 夏に誕生した初孫に会い、娘夫婦を含め共に過ごす事。
182. 人と関わる仕事であるため、休みの日は1人で海を見に行ったりドライブに行くなど「1人」の時間を大切にするようにしています。つい休みの日も仕事の事を考えてしまいますが、できるだけ頭を切り替えるようになってからはストレスが減ったと思います。
183. 友人の介護支援専門員と仕事の話ができた時、又、休日のライブやカラオケなどトリフレッシュして楽しく過ごすようにしています。
184. 映画を観に行くこと。
185. 季節を感じる事、今の季節なら紅葉を追いかけるプチ旅行。
186. 音楽を楽しむこと、好きなスポーツをしてレースに出場すること。
187. 仕事以外、集中する時間をつくり気分転換する。
188. 旅行、同職種仲間とおしゃべり、種から野菜を育てること。
189. 歴史散策、都内散策、歴史的建造物を見学。
190. 家で子供と触れ合うこと。
191. 自分のお気に入りのスイーツを食べる事。
192. 職場で仕事上の悩みを話す事、話せる事がとても良いです。休みは仕事に関わりがない人と過ごすようにしています。
193. 愛犬との散歩・・・休日は少し長い距離をフサフサ揺れるしっぽを追いかけて歩き癒されています。
194. 明日から以降の自分の休みの予定に、自分が楽しいと思う予定を入れていくこと。

195. 日頃はジムへ行き体を動かしておいしいものを食べてストレス発散してます。時々旅行が自分へのご褒美です。
196. 録画したビデオを見ること。
197. 習い事、旅行に行きリフレッシュする。
198. お給料は安くてもいいから(歩合制なので)担当人数を減らし残業しない。今の仕事は好きだが規定量の仕事をすると仕事が追いつかなくなり休日がなくなる。仕事が終わったらスポーツクラブで水泳やヨガをする、休日はおいしい食事を探しにドライブする。毎日が楽しい。
199. 旅行などのんびりすること、料理→自分の中で創作しながら作ることで無心になれるような気がする。
200. 仕事と関わらないことをする、旅行など職場から離れても利用者のことを考えてしまう。
201. 子供達と過ごす時間やおいしいものを食べること。
202. 趣味の笛笛演奏。
203. 休日に農業で汗をかくこと。
204. 月1回程度、ハイキングや軽登山に行き自然にふれること。
205. 1w/1時間程度だけれど運動(スポーツ)をしている。社会人リーグにつながっている。
206. 昔から続けている趣味とその関係の友人たちとのつきあい。
207. ヨガ。
208. 登山。自然に触れてリフレッシュする。
209. 私のストレス発散は「しっかりと寝ること」です。良質な睡眠を得るために、マッサージなどを取り入れています。
210. 勤務時間以外は仕事のことを考えないようにする。家族との時間を大切に作る。
211. ストレス発散は趣味の時間の映画と飲酒。
212. スポーツクラブで汗をかき、入浴し生ビールを飲む。
213. 自分の好きなこと(フォークダンス、フルーツ)、友人と出かけることで自分のもろもろを忘れる時間を作る。
214. 旅行をして仕事以外の時間をもつ。
215. 仕事終了してからの趣味活動。
216. 実務について間もなく、また何もわからず一人ケアマネとして働き始め、ケアマネの応援サイト等で学ぶことも多々あります。その中での掲示板を見て同じような立場の方も何人かおり励まされています。それを毎日見るのが楽しみになっています。
217. 月1回のウォーキング。
218. 書道をしているときは仕事のことすべて忘れストレス解消になる。
219. 子供の成長を見守ること。
220. ストレス発散法として同じ職場で働く仲間に心配事、失敗ごと、楽しいできごとなど話し聞いてもらうこと。
221. 家庭菜園(何も考えず無心で作業する。収穫の喜びがある)。
222. 睡眠。
223. 他の仕事することを考えること。
224. 映画をみたり、現実から離れたところで楽しみをもつこと。
225. 旅に行くこと。非日常の世界にひたれる。

226. 孫の顔をみること。ケアマネの仲間との会話など。
227. 行きたいところに運転して行く。何も考えない時間を意識的に作る。
228. フラダンス。
229. 子供(娘)との休日を過ごす時間。
230. 仕事が好きなので利用者さんが良い状態になることです。
231. 休日でも電話連絡が入り休んだ気がしない。好きなスポーツをして発散するように心がけている。
232. 趣味活動(スポーツ、園芸、読書、外食)を楽しみ仕事を忘れる時間を持つようにしています。
233. 子どもの成長を見守ること。共にスポーツ(部活動等)を楽しむ。
234. 旅行です。さまざまな国土、風習を肌で感じ、人生観や価値観を出会いの中で学びたい。
235. 仕事を思い出さないこと。家族と過ごすこと。
236. 旅行や運動。
237. 友人と食事を食べにいくことが楽しい。
238. 寝ること。食べること。遊ぶこと。
239. 仕事するときは思い切り仕事をして、遊ぶときも思い切り遊ぶ。趣味を楽しんだり、友人と飲みに行く。
240. 好きな著名人の著書やブログを読むこと。
241. 眠れることです。眠れるということは、仕事も私生活も心配事がなく過ごすことができているということだと思います。安心してぐっすり眠れることは楽しみでもあり、幸せでもあります。
242. 研修。
243. 歌を歌う(大声で)。
244. 他事業所ケアマネ仲間とランチして服、旅の話をする。
245. 趣味のスキューバダイビングへ休みをとっていき、自然に癒されます。
246. 妻や子どもと遊ぶこと。
247. 敷地内の草取り、植物の世話、環境整備が何よりの楽しみ。
248. ゲーム等。
249. 子育て。
250. ジムに行き運動して汗をかくこと。寄席やコンサートに行くこと。
251. 大きな声で歌をうたうこと。
252. 映画はなかなか行くことができないのでテレビドラマを見て楽しむこと。高校生の娘も難しい年頃ですがドラマの感想や予想を話すことでコミュニケーションを取ることができて一役かっています。

イ この仕事ならではの“やりがい”や“最もうれしかったこと”などを教えてください。

1. 利用者から必要とされ感謝された時。
2. 家族が納得するまで介護ができた。看取れたとっていただけたときはとてもやりがいを感ずます。
3. 利用者、家族の希望をケアプランに反映し、実際サービスの提供後、ADL低下が改善され生活意欲を取り戻した事例が多くあり笑顔がみられるようになった時、やりがいを感ずます。

4. 利用者さんが笑顔でいてくれることにやりがい、生きがいを感じる。
5. 要介護 4→要介護 2→自立になった方がいたこと。S 事業所の協力もありましたがうれしかったです。
6. 「ありがとう」の言葉がやりがいにつながっています。
7. ご利用者からの感謝のお言葉。
8. 緊急でショートが予約できた際、介護者の「ありがとう」や笑顔(安心した)に達成感があります。でも更新研修の増加に伴い退職も考えています。
9. 多くの高齢者やその方を取り巻くご家族やご近所の方々と接することができ人生勉強になります。自立支援のため計画を立て、うまくいったときは感謝のお声をいただけ嬉しいです。
10. 初回、氷のように冷たかった利用者がだんだん笑顔で対応してくださるようになったことです。
11. 担当が変更後、しばらく経ってからご家族から感謝の連絡をいただいた時。
12. 「あなたが担当で良かった」といっていただいた事。
13. 本人や家族と信頼関係を築き、感謝の気持ちを伝えていただいたこと。
14. ご家族より感謝の言葉をいただく時。
15. 利用者の希望で退院し、退院後も介護保険・医療保険を利用して本人、家族とも満足して看取りができたこと。
16. 最近最も嬉しかった一言「〇〇さんと話すとおどろく」。
17. 介護や医療のサービスを利用し、利用者様の ADL が向上したこと。
18. 住み慣れた自宅で生活するにあたり、サポートする一員として関わられた時。
19. 利用者や家族から感謝された時など。
20. 利用者本人、家族の”笑顔”泣いたり、笑ったり共に向き合う本気の時間が最高に嬉しい一つ一つ、1人1人との思い出ですね。
21. 利用者さんの健康状態や身体機能が改善し、できていることが増えて笑顔が見られ感謝された時。
22. 介護計画を作成してあげたクライアントさんが元気になり少しでも改善していくこと。また、クライアントさんの状態が安定して家族に感謝されること。
23. 家で看取りで亡くなった利用者の家族に「家で最期を迎えさせることができた」と言われた時。
24. 長く担当していると深い話をしてくださるようになり、点として把握していた情報が線で繋がっていく。そこをアプローチすると信頼関係が強まり、目標に向かって一緒に取り組めるようになる。
25. ご利用者様が私の訪問を待っていてくださること。ご利用者のお話はゆっくりとお聞きしています。
26. 利用者の生活が安定してきたり、身体機能が向上した際にはやりがいを感じ「ありがとう」と言われることが最も嬉しい出来事です。
27. 利用者である経験豊かな方々の人生の一端に接することにより、自分の人生の教訓を導き出したこと。
28. 担当の方が元気になり、笑顔が見受けられるようになった時。
29. 他職種との連携が取れチームとして、本人、家族を支えることができ、本人、家族が安心して生活されていること。
30. 利用者様、ご家族より、感謝の言葉を頂いた時。

31. お客様の状態が安定したり、サービス提供までの流れがスムーズにいったり「助かった」等、言ってくださった時。
32. 担当者会議開催時、利用者、家族のために大勢のサービス事業者、スタッフ等が集まって支援、連携する話ができたと、周りからパワーとありがたさを実感する。
33. 関わる方々の人生の一部を共有し一緒に試行錯誤していくこと。
34. ご利用者様やご家族から「あなたがケアマネでよかった」と言ってもらえた時が一番ケアマネをやっていて幸せを感じます。休みがもう少しあると嬉しいですが。現在、週休2日制度＋有休10日程度。
35. 脊椎小脳変性症の方を看取りで引き受けた。寝たきりで死にたい殺してくれと毎日叫んでいた人が治療技術の進歩を伝え完成まで良い状態を維持しようと励ましリハビリに努力し少しずつ歩けるようになり、奥様と公園の散歩が楽しめるようになり、俳句と詩集を出された時。
36. 困難事例となっている方の精神状態や生活状況が改善された時に喜びを感じる。
37. 本人や家族の悩みに向き合えた時や、距離がぐっと近づいた時。力になれた気がします。
38. 高齢者相手が多い仕事ですが目標以上のものが達成できた時にはやりがいを感じます。
39. 施設ケアマネなので常にお顔を見ることができ、そのぶん信頼関係ももてるようになります。困ったことがあると「話を聞いて」といつてきてくださりお客様が多くなるほどやりがいを感じます。
40. 利用者様の意向とサービス提供が確保され満足されたときにやりがいを感じます。
41. 人生の先輩の意見などが聞けること。
42. 「人とのつながり」利用者や家族、利用者を支える他職種の人々と少しずつ信頼関係が築くことができ、人とのつながりが広がっていくことにやりがいを感じます。
43. いろいろな方とその家族の人生にふれることができ、感銘うけたり思いを共有し力になったりします。
44. サービスを提案し利用することで他者との交流が図れ本人の表情が明るくなり日常を過ごすことができている時。
45. 感謝やお礼を言われると素直にうれしいが、それ以上に支援していた方とのご縁が終わっても(死亡や入所等)そのご家族や知人に紹介いただいご縁につながったときが嬉しい。
46. 利用者から看取りの際に「ありがとう」と言われたり、ご家族にもまずあなたに相談したいといわれるなどしたときにやりがいを感じます。ケアマネへの処遇などがないと生活が厳しいのも事実、助けてください。
47. 施設入所ではなく本人が希望であった自宅で看取ることができた。また支援することができた。
48. サービスをはじめて楽になったとか、部屋がきれいになってよかったといわれるとき、がんばりますと笑顔で言うてくださるときは、よかったと思います。
49. 利用者の意向を聞き、その方らしい生活に近づけるプランで利用者の力を引き出せたとき。あなたが担当でよかったと言われた時。
50. 利用者が楽しみをもって生活できるようになったこと。
51. 利用者様の心からの笑顔に出会った時。
52. 利用者様の心身・生活状況が改善した時。
53. 困難ケースであり、どうするべきか迷いながら、最期まで自宅で看取れたこと。

54. 病院から退院後、在宅での生活を介護保険を使って整え、本人、家族ともに安心して生活が送れるようになったこと、本人がどんどん元気になってきた時、やりがいを感じます。
55. まだケアマネとしての経験は浅いですが、頼りにしてもらえたような時、「ありがとう」と言ってもらえた時、本当にうれしいです。今後うまくいかなかったり、壁にぶつかっていくこともあると思いますが、一生懸命やったことが伝わった時、わかってもらえた時、また頑張ろうと思います。
56. 利用者さんと相談しながら、その人ができなくなってしまった事を取り戻したり、やってみたい事の手助けができた時、感謝の言葉が聞けた時。
57. 利用者さんからありがとうと言われた時です。
58. 素敵な家族に会った時、セッティングしたサービスにより利用者様の状態(身体や精神的なもの)が向上した時、また事業者様と連携協力して支援ができた時。
59. ご本人、ご家族と一緒にプランを立て ご本人の様子が良くなることやご家族が安心してこちらを信頼して下さることが大変嬉しく思います。
60. ご利用者、ご家族と関わる中で自分も気づきがあり、日々成長していくことをやりがいを感じます。
61. 介護保険の利用法を全く知らない方に説明して、サービスの提案を受け入れてくれて「ありがとう、助かったよ」と言われた事。
62. 家族が悔いない最期を過ごせられる事。
63. 利用者のご家族と支援の方向性について話し合い、利用者の活力が出てきたり、ご家族にも笑顔が見られるような支援に結びつけた時です。
64. 月に1回以上のモニタリング時に利用者さんが楽しみに訪問を待っていること。信頼関係の構築ができ、助言を素直に聞いてくれ、できるだけ本人が自分自身で自立して「やろう」と思ってくれている時、嬉しいと感じます。
65. ケアマネを始めた頃に比べて独居や高齢者世帯が増え、別居している子供達との関係も薄くなってきていることを強く感じます。その環境の中でケアマネの役割を担うには精神的なタフさが求められます。若いケアマネがそんな状況の中でもケアマネとしてのやりがいを感じてやる気を出してくれる事が嬉しいことです。事例検討会では新たな気づきがあった。
66. 自分で調整したサービスが利用者様やご家族に喜ばれチームがうまく連携とれている時には、やはり嬉しいですし、この仕事を続けたいと思います。もう少し賃金面が優遇されるともっとやりがいを感じるのですが・・・
67. 介護保険を利用しての生活に不安感や疲労感があったご本人様やご家族様がサービス利用や相談を受けていくことにより、笑顔で過ごして頂けるようになってもらえること。
68. 利用者様に貴方でよかったと言われた時、サービスを利用して行った結果、体調が改善され介護度が下がった時、家族と喜び合える感動が一番嬉しく思い、やりがいを感じる。
69. 夫の介護を続けていた奥様が夫を施設に入所した後、末期癌であることがわかり、夫に引き続き奥様のケアマネに。病院を拒否され自宅で看取った時に「ありがとう」と亡くられる時に感謝された時。
70. プラン作成において導入したサービスが利用者様のいきがいや楽しみとなり、元気になっていく姿を見ることができた時。
71. 担当している利用者が元気になっていただける姿を見ていると、嬉しく思ったり、やりがいを感じたりします。

72. 関わった利用者やその家族の安心した笑顔が見られた時、あなたで良かった・頼りになります、と言われた時。
73. 「あなたがケアマネで良かった」と家族・本人に言われたりすると、やりがいを感じる。
74. 家族が介護困難になった時、いろいろな対応方法や方向性を提示して窮地を脱した時に「あなたに相談にのってもらって良かった、あなたに会えて良かった」と言われた時。
75. 本人希望で自宅で亡くなる支援ができたこと。サービス調整にて介護度が下がったこと。
76. 担当利用者様が元気になり自立された時です。
77. 認知症の方の家族と医師と相談しながら、薬の調整を行い症状が改善し家族に喜ばれた時。
78. 利用者様が亡くなったり、施設入所して関係が終了した後、家族から「あなたがケアマネでよかった」と言われたり、手紙をもらったりした時、本当に嬉しい。
79. 利用者やその家族から「感謝」の言葉を頂いた時。
80. 認知症カフェを開設することにより地域のケアマネ等と社会資源作りが広がっている(連携が取りやすくなった)。
81. お客様、ご家族から頂ける感謝の言葉が何よりです。
82. 利用者(家族)とふれあいながら過ごす時間が充実しています。
83. 利用者様がデイサービスを使って少しずつ意欲を持ちいきいきとしている姿を見た時、生きる喜びを見出してくれた時に嬉しく思います。
84. 利用者のADLが向上し家族も喜んでくれた時。
85. たくさんの人と関わる中で個々の人生にふれることができる。責任やプレッシャーを感じるが人それぞれ違うことを実感することができる仕事。
86. 今年、母の三回忌でした。この5年の間に義父母も見送り、介護している時は仕事が唯一自分のための時間でした。今は経験を活かし利用者さん達に寄り添えればと思っています。利用者さんやご家族からの相談を受け、不安が軽くなったと言われた時、やりがいを感じます。
87. 本人や家族にお礼を言われた時。
88. 精神誠意、利用者様に尽くし、感謝の気持ちを伝えられた時、本当に良かったと思いました。
89. 重度の方、看取りの方を多く担当しております。家族の方々との相談、医療関係の方々との連携がスムーズに行えた時は良かったと思います。
90. 利用者、利用者家族から感謝の言葉をかけてもらえた時。
91. 私の担当はあなた以外に考えられないと言われた時。
92. 在宅での看取りを希望された方が、家族、サービス関係者に囲まれ穏やかに過ごすことができた時、優しい笑顔を自分に向けて下さったこと。
93. 色々な方と出会えること。「あなたがケアマネ(担当)で良かった」と利用者や家族から言ってもらえること。その人が生き生きとしている姿を見る時。
94. 利用者・家族に笑顔が戻った時。
95. 家族が自宅で看取りし感謝されたとき。ケアプランがうまくいって改善した時。
96. 自分の目の前に困りごとがある人がいて、その悩みを一緒に考えていく。上手にいったときにやりがいを感じる。
97. 本人、家族から感謝の手紙をもらったとき。今も大事にとってあります。

98. 目の前の困っている方に対し、何らかのお手伝いができること。
99. 利用者との関わりやサービスがうまくいき感謝をいただけたとき、やりがいを感じます。
100. 利用者の「本当の笑顔」が見れる時。
101. 47歳で脳出血で右麻痺言語障害になってしまった男性。学歴もあり立派に仕事もしていたため失意のどん底にあったが、8年くらいたったころ草花を育てる楽しみを見つけた。訪問したとき自分が育てた花を切って私にくれた時。
102. その人らしい人生を送るお手伝いが出来たとき、その人らしい人生の最後を共に出来たとき、究極は在宅死をコーディネート出来た時ですかね。
103. 利用者様が亡くなったとき、ご家族に「担当していただいて本人が幸せだった」と感謝された時。
104. 支援困難ケースが終了したときに「やり切った」と思える。
105. 利用者様、ご家族様の「ありがとう」の言葉。
106. 「ありがとう」ととても感謝された時。
107. 人生勉強になります。
108. サービスの導入により在宅生活の活用化を図ることが出来、心身状況も改善され、利用者やご家族に笑顔が戻ったことです。
109. 利用者に喜ばれた時にやりがいを感じます。
110. 利用者さんに「助かるよ、ありがとう」といわれる時。
111. 本人、家族の希望により在宅での看取りができたこと。
112. 人生を自分なりに頑張ってきた人の経験を話してくださり老いの中でも人に迷惑をかけまいとする姿に出会うとき、頼りにしてくださる言葉。
113. ケアマネとして16年。5年目に利用者本位の業務(やりがい求めて独立しました)。経済的には大変ですが、生きがいはあります。
114. 今の職場で4件目ですが、今まではケアマネとしての利用者本位の考え方と会社の利益重視の考え方の違いや職場内の人間関係やパワハラ等でストレスを感じていました。今の居宅は気の合う仲間と立ち上げて3ヶ月目ですが、とても充実しています。利用者の気持ちに寄り添う仕事できて嬉しいです。
115. ご本人やご家族から介護サービスを利用したことで「生活に楽しみができた」という内容の言葉を言われると「よかった」と思います。
116. 急にサービスが必要な方。例えば、新規や退院時などに事業所の協力が得られ連携がとれた時、嬉しいです。
117. 本人やご家族がサービスにつなげたことで安心できるような生活ができるようになった時。
118. サービスが軌道にのると、あまり感謝されることのない職種だと思っていますが、「ケアマネジャーがいてくれるので仕事を続けながら介護ができています」とご家族にいただけたときはさすがに嬉しかったです。
119. 担当になったことでお礼をいわれたこと。(あなたに支援してもらえてよかった、など)
120. 気難しかった利用者様の笑顔が増え、心を開いている感じを受けることができた時。
121. 利用者さんと信頼関係が築けたと感じる時。「あたたかに会うとほっとするわ」といわれたときはうれしいと感じる。
122. 笑顔をみる時。

123. プラン作成により「あなたにケアマネを頼んでよかった」と感謝され、長く望んだ在宅生活を過ごしてもらえること。頼られたり相談により表情がやわらぐのを見た時。
124. 引きこもりがちな利用者様がプランによって明るく前向きになり生き生きとした表情・生活に変わってくださった時。
125. 利用者様に感謝されたとき、納得のいく最期を迎えることができたとき家族に言われた時やりがいを感じる。
126. プランニングが上手くいき「あなたに頼んでよかった」と言ってもらえたこと。
127. 大変なことが多い仕事ですが、利用者の方やご家族の笑顔を見るとほっとします。
128. ご本人やご家族から「助かりました」等言葉をいただいた時。
129. 利用者様が自宅での生活が安定して過ごせるようになったり笑顔がみられた時。
130. 利用者様、家族の笑顔が見られた時。
131. 自身の担当しているお客様の生活が少しでも豊かに、終末に向けて不安なく楽しい気持ちで生活できるようコーディネートできること。
132. 本人、家族の不安からはじまる見取りに医療、介護の連携とメンタルサポートを心がけ支援。時間経過とともに本人、家族共々に落ち着きがでてきて最期を迎えたときは本人の表情は穏やかで、家族は自宅で見送りを喜び、ある種の達成感を感謝の言葉で表していただいた時。
133. 利用者様からの感謝の言葉。
134. 「やりがい」があり過ぎて自分の生活が犠牲になることや辛いことも多いですが、ご利用者やご家族の支えになっていると感じたときが嬉しい。
135. クライアントの方の元気な笑顔が見れた瞬間。
136. 利用者さんから「あなたに出会えてよかった」と言われたとき。本当に嬉しかったです。
137. 利用者様の言葉に出せない、本当にしてもらいたいことや気持ちに気がつけた時。
138. 利用者様等から学ぶことが多い中、感謝の言葉をいただけること。
139. 多くの専門職と知り合え学びを得られた。研修等で学びの機会を与えられた。
140. 利用者様やご家族の悩みが解決し安定した状況になった時。
141. 自殺願望が強かった利用者が穏やかに過ごすことが多くなった。少しでも力になれたかなと感じている。
142. やりがいのある仕事で人に喜んでいただけること、人のためになること、家でよくされない人を助けてあげたい。
143. ケース終了時、ご家族から「あなたが担当でよかった」「あなたに出会えて父も私も幸せな時間をすごせました」「理想的な介護で父を送れたのはあなたのおかげでした」と言われた時。
144. 利用者、家族(介護者)と目標、プランを共有でき、達成できたとき、経過中の苦勞が報われる。例えば、障害を持ちながらもその人なりの自立が達成できたとき。在宅希望者の看取りができた時など。
145. 本人が望む家での生活の中でできることを続け、できない部分の手伝いを行うことで自宅での生活が続けられることに関わらせてもらえることが嬉しいことです。
146. 脳梗塞退院後、後遺症の麻痺を悲観し家に閉じこもっていた方を訪問リハビリに繋げた後→通所リハビリ週3回の社会参加を明るく前向きに生活されるようになったこと。

147. 利用者が介護サービスを利用し身体機能が戻ったり生活環境が改善されたことが嬉しかった。
148. 利用者、家族から「あなたがケアマネでよかった」「ありがとう」といわれた時。
149. 利用者様が訪問を待っていてくださり「楽しく会話できた。ありがとう」の言葉を聞けること。
150. 在宅が困難と思われた独居の方でも、ご本人の希望でヘルパーを入れることで元気になられていった時。「無理」と思っはいけないと反省しました。
151. 提案したケアプランやサービス提供に基づき利用者様に向上が見られた時。亡くなった利用者様の家族に「あなたにお願いして本当によかった」と言ってもらえた時。
152. 利用者が元気になってきた時。例)パーキンソン病の人が「いつ死んでもよい。もうそろそろ」と言っていたが、今は元気にしている。
153. 家族、事業者と共にチームケア、在宅で「最期」を迎えられて、後日家族より「満足のいく看取りだった」と伺った時。
154. 担当の利用者様の体の状態がよくなられたり、住宅改修によって暮らしやすくなって「ありがとう」といわれた時。
155. 難しい(家族関係、金銭面等)生活環境の状態であったものが介入したことにより、家族の理解が得られ協力してもらえ、誰もがあきらめていた状態が良い方向に向いたとき、やったと思います。(人の心を動かした時)
156. ケアプランの遂行で利用者様のADLの向上が見られたりクオリティの改善が見られた時。
157. 「食べること」は「生きること」ですが、ご本人の好きなものを体調に合わせて食べる。無理をしないことで笑顔が増えた。

ウ この仕事を「続けたい」「続けていて良かった」と思った瞬間はどんな時ですか。

1. 「ありがとう」と言ってもらえることは本当に少ないのですが、感謝の気持ちが表情から感じられた時には、よかった、もっと頑張ろうと思います。
2. 10年前から親を介護し、介護していく中で、福祉20年CM15年弱の経験は本当に役に立った。親と他人の支援は全く違うが業務上、介護者の苦労も共感できることもたくさんあり、大変なときもありましたが続けてきてよかった。CM1人で4年位やっていたが今7人になり本当に嬉しい。
3. 利用者様からサービスを利用して「楽しい」という言葉が聞かれたり、生き生きされた様子が伺えた時です。
4. お客さまやご家族から知人の方をご紹介いただいた時。
5. 利用者さんの心身の状況が改善されていくこと。独居の方がサービスやネットワークにつなげられ環境が整い、生活への意欲がわいていくこと。
6. ケアマネの仕事はやりがいのある仕事です。ただし人相手なので、落ち込むことや眠れないことも何度もありました。でも続けたいです。人の役に立つことができると思います。ケアマネが私でよかったと言われたり、家族に感謝されたり、本人が自立できたときは大変嬉しいです。
7. サービスを使わずに卒業された時。
8. お年寄りやご家族の笑顔に救われています。
9. 年齢がいても頼りにもされ、やりがいある仕事。まだ役に立っていると自覚している。

10. 人生の最期に関わるが多く気の滅入ることもあります、その中でご家族が納得のいく看取りや介護ができる様、手伝えた時、自分の役割が果たせたと考えます。
11. 家族と本人の意思の相違、訪問面談を繰り返し、各サービスを利用する事で心身共に改善され両者に笑顔が出現した時。
12. お客様から「ありがとう」と言われた時。
13. 癌末期の方を担当させていただき、自宅でこんなにおだやかに死を向えることができ、残された方が死を向えることに対する恐怖がなくなった。最期まで関わることで孫、子供、妻、全員が気持ち一つになれ幸せだったと言われる時。
14. 頼りにされている、訪問すると笑顔で安心した表情を見せる時。
15. 自分の訪問を楽しみに待っていてくださったり、自立に向けて頑張っている姿を見せてもらった時はうれしいです。また、支援が終了したあとで、身内や知人を受け持ってほしいと言われた時は、続けていて良かったと思います。
16. ご利用者さん、ご家族様をご希望の支援を受けられて「ありがとうございます」と感謝の言葉を頂くと「続けていて良かった」と思います。
17. 本人、介護者と共に悩みながら担当したケース。ご主人の逝去後に家族から「やりたいことは全てやりきりました。満足です」と言われた。
18. 新規の利用者様で「介護が必要になり在宅での生活に大きな支障が出た状態」で支援を開始。支援体制が構築され在宅生活が安定したケース等で利用者様やご家族から「あなたが担当で良かった、介護サービスを利用して良かった」との言葉を頂いた時。
19. 本人またはご家族と共に、色々悩みながらケアプラン作成しています。その結果、ADLが向上したり明るくなって感謝されます。またサービス事業所とも協力しあいながらよい方向に向かったときなどです。
20. 私の患者さんはほとんどが家族を看取ったときに関わった人です。また同級生の親も多く知り合いの家族をお世話することができてよかったと思い、またそこから評価が上がり依頼されることが9割方で、こうした知人たちの力になりたいという思い。
21. ご利用者様、ご家族様が笑顔になられる時、よかったと思える瞬間です。
22. ご利用者、ご家族から笑顔をいただいた時。
23. 自分は口しか出していないのに感謝の言葉をもらった時。
24. 書類が大変というが得意分野なので苦でないし、自分の性格に合った業務内容だと思っているので仕事にストレスを感じない(利用者さんのお話を聞くのが好きです)。
25. さまざまな利用者様、事業所の方とのつながりができた時。
26. 大変なことが多いが、利用者、家族に感謝の気持ちを伝えてもらった時です。
27. 報酬は多く望めません。クライアントからの「ありがとう」が一番心にしみます。業務が多すぎて利用者に向き合う時間が作れない。
28. ご本人がご逝去されたときに家族から感謝の言葉をいただいたとき。「あなたがケアマネでよかった」と。
29. 本人、家族の意向が実現できたとき。家での看取りなど「〇〇さんがいてくれて良かった」と言ってもらえた瞬間。
30. 「あなたに相談して良かった」と言われた時。
31. 担当している本人や家族から感謝された時。

32. 支援をしている利用者の笑顔を見た時に良かったと感じています。
33. 「続けたい」「続けていて良かった」と思ったことがない。
34. 利用者様の笑顔が見られた時です。
35. 担当利用者にケアマネの変更について相談した際に、涙を流して「なんでそんなことを言うんだ！」と言われた時。
36. 困難事例が解決、家族間での話し合いで各自が納得できる結果になるように支援できた時。
37. 自分で調整したサービスが利用者様やご家族に喜ばれチームがうまく連携とれている時には、やはり嬉しいですし、この仕事を続けたいと思います。もう少し賃金面が優遇されるともっとやりがいを感じるのですが・・・
38. ありがとうの言葉をもらった時。
39. 利用者、家族の笑顔を見た時。
40. 大手介護事業所に勤めていた頃は寝る暇がないと表現したい程でした。身体を壊して仕事をやめ自宅で母の面倒を見ていましたが、体が仕事をしなくてその思いを止めることができませんでした。目上の人から色々教えて頂き、時には対等に話し合う真剣な思いが好きです。介護保険が始まった時、担当した方が今でも会いたいと言ってくれる日、心が躍ります。
41. ご本人やご家族が将来の生活に対して不安があり、先が見えない時に相談、対応し少し力になれてご本人ご家族の負担が軽くなった時。
42. 人の人生に関われること。
43. 仕事のスキル(相談業務としての)が少しずつでも向上し、利用者や仕事の同僚に喜ばれた時。
44. ありがとうと感謝された時。
45. 人の悩みを聞くことで自分の生活にも活かせ、人生勉強ができること。
46. 本人や家族から相談してよかった、と言われた時や笑顔をされた時。
47. 常に新しい出会いがあること。
48. 支援開始から更新の度に介護度が改善していく利用者さんがいます。4度目の認定結果を知った時はとても嬉しかったです。
49. ケアマネジメントを行いサービスを利用していく中で利用者さん、その家族が元気になっていき生活状態が良い方向に変わっていく様子を見ていくとやりがいにつながり、この仕事をやっていると良かったと感じます。
50. 「ありがとう」と言葉で表現されなくても、笑顔が見れた時には幸せな気持ちになります。
51. ご本人やご家族が抱えている問題が解決もしくは良い方向に向かった時。
52. 利用者、家族から 感謝の言葉を頂いた時。
53. 自宅での看取りをされた方で、各種介護サービスを利用して生活していましたが、ご家族様より思い通りの看取りが出来てよかった、施設や病院ではなく、本人の望む自宅で家族に見守られて見送ることができましたと言葉をいただいたときに居宅の CM をしていてよかったと思いました。
54. 家族に笑顔が戻った時。在宅介護をしていた人が「介護やりとげました」と笑顔で話された時。
55. 利用者と利用者の家族と仲良くなれ信頼関係が築けた時、やりがいを感じます。
56. 利用者の笑顔。ねぎらいの言葉をかけてもらった時。
57. 他の人から頼りにされていると思う時。

58. ご利用者様の状態がよくなりました時。
59. 利用者様や家族様に喜んでいただいた時です。
60. 以前支援していたケース宅から再度依頼を受けた時。支援終了後も本人やご家族と外で会った時に声をかけていただいた時。退院後自宅での生活が軌道にのった時。
61. ためになること、ほっこりする話し等聞くことができる。亡くなった親のことが今少しずつ理解できるようになった。
62. 悔いなく大切な時間をすごしてもらえたと思えた時。また、そういつてもらった時。
63. 遠くにいる知人友人からでも相談を受ける。直接は関われないが感謝される。
64. 利用者様が在宅生活をしていて訪問時「ありがとう」という言葉を言われた時。
65. 担当していた利用者が施設入所やお亡くなりになって自分から離れるときに「本当にいろいろきめ細かく相談にのっていただいてよかったです」等のお言葉をいただいた時。(ご本人やご家族から)
66. ご本人が最後まで自宅で生活したいと希望されそれがかなった時。ご家族に見守られながら最後まで自宅で生活が続けられるので一番うれしいです。
67. ご家族に相談対応し、サービスを利用してよくなりました時、最後を迎えて相談にのってもらい感謝の言葉をうけた時やりがいを感じる。
68. サービス終了後、本人、家族から感謝の言葉をいただいたこと。
69. 在宅生活継続のための支援プランナーとしてご利用様から感謝の言葉をいただいた時。
70. 地域の住民から介護相談を受けた時。
71. 利用者様が笑顔になり、元気になり、ありがとうと言ってくれる時。最期を穏やかに過ごされご家族から感謝された時。
72. 利用者様とご家族の笑顔を見た時。
73. ご利用者がお亡くなりになったあとにも、ハガキなどで連絡をいただけることがあり、そんなときには頑張ったごほうびをいただけたという気持ちになり励みになっています。
74. 利用者さんが少しづつ心を開いてくれるようになることが、この仕事を続けていてよかったと思います。
75. 利用者さんの思いとケアマネの思いが一致した時。
76. 現在も力不足を感じているが自分でも誰かの役に少しでもなれること「あなたがいてくれて私も家族もよかった」と穏やかに日常を過ごす様子がみられた時。
77. 親身になって相談にのりサービスの調整をし、本人、家族の意向に近づけ、本人らしい生活ができ、感謝された時。
78. 利用者に感謝される。必要とされる。
79. 助かるよ、ありがとう、と言われること。
80. 昨年、夫が進行性のがんに侵され看取りをしました。その際、介護保険の申請、ケアプランを自己作成し福祉用具の貸与を受け自宅療養のための住環境整備を行いました。また、医療機関との連携などケアマネジャーとしてやってきた仕事の経験が活かされました。
81. 習得した知識やプランが評価された時。具体的には本人のニーズに合ったサービス(デイの選択等)を提案して感謝された。

82. 利用者さんからの感謝の言葉を頂いた時。あなたに担当してもらえてよかった。
83. 「おかげでとても助かった。ありがとう」と言われた時。
84. 利用者様や家族に本人に合ったサービスを紹介し感謝された時。良いケアマネジャーにめぐり合えてよかったといわれた時。
85. 利用者及び家族に感謝される等、自分らしい(利用者及び家族)ケアプランを心がけている。本人家族の本心を知ることに心がけている。
86. 自分の裁量の中で引き受け数を調節でき、まだ続けられることを実感する時。
87. 認知症の方が自分だけのことはわかってくれる。家族をわからなくなることはある。
88. 利用者や家族から「ありがとう」の言葉をもらった時。
89. 利用者様、家族様に笑顔で答えていただく時が続けていてよかったと思います。
90. 利用者から「ありがとう」と言われた時。
91. 利用者、家族から感謝の言葉をいただいた時。利用者に対して行ったことが良い結果につながった時。
92. 本人の頑張りではありますが、施設から自宅へ戻られ自立した生活が送れるようになり趣味も再開できた時。
93. 「ありがとう」の言葉をもらった時。
94. 感謝の言葉をいただいた時。
95. 利用者本人や家族から「あなたに会えてよかったわ」と言われた時。
96. ケアプランの遂行で利用者様のADLの向上が見られたりクオリティの改善が見られた時。

エ ケアマネジャーの仲間にこれだけは伝えたい!!こと(成功談や失敗談など)。

1. 仕事はなんとかなる。ストレスをためないこと。
2. 障害者総合支援法について知識を得ておいた方がいい。ケアマネの研修で細かくやってほしいです。
3. 集中減算など納得できない条件に否の声を上げてほしい。
4. 自分が常識と思っていたことが相手には通じない事。自分の親を過大評価しすぎる方が多い。「そのくらいできるよな」「そんなことはしてないはず」「自分がいるときは無い」といった事が多い。
5. 看取りまで関わることが自然に穏やかにできること、往診の先生あればこそ。もっと往診医が増えることを望む。求人広告を出しても人が集まらない。人に喜ばれ先人に学び、日々出会いがあり、なかなか楽しい仕事なのに。ストレスは全くない良い職場。
6. 研修費用の内容問題あり、日程等大変な仕事と言われながらもカリキュラムの多さに問題がある。国家資格でもないのにグレーゾーンになるとケアマネ任せは、これいかに？
7. ケアマネは孤独なので同業種の情報交換や繋がりを大切にすべき。
8. 介護の基本である利用者主体、利用者の自立支援に向けて支援をしていくことが家族、経済状況等、ご本人の周囲を渦巻いている環境等に左右され、利用者本人の気持ちが疎かになりがちになってしまう。いつも初心に戻らなくてはと思いがあがるがギャップが生じることに悩まされる。
9. 仕事に熱心になり過ぎて自身の体調が悪かったことに気がつかなかったので自分が健康であってこそできる仕事だと伝えたい。

10. 専門職として常に自分の時間、自分のお金を使って自己研鑽をつんでいきCMの地位を上げていきたい。
11. 報・連・相 は大事である。
12. 必要以上に家族間の問題に関わらないように気をつける。
13. 信頼関係を築くことが一番大切だと思うが、時間をかけてやっと信頼関係が築けたと思っても一瞬で崩れる事がある。緊張感を持って誠実に対応してください。
14. 成功している時はいいが、失敗は必ずきます。失敗で多くのことを学びます。また一人で抱え込まずに同僚などに聞いたり、聞いてもらうこと、大切だと思います。
15. 市役所、保健センター、包括など ちょっとでもわからなければどんどん電話して聞くと、意外と楽になります。
16. 要介護状態になっても介護される人や介護する人が少しでも幸せになってもらえるようにお互い頑張りましょう。
17. オンとオフをしっかりと持つ。
18. 感謝してもらえるやりがいのある仕事だがそれ以上に悩み事やストレスが多いので常に職場で相談できる環境が何よりも大切です。
19. 1か月にしなければならぬ減算事項が多すぎて、正直モニタリング訪問やサービス担当者会議、関わる記録やケアプラン作成で手いっぱい。減算に引っかけられないよう、そのことばかりに集中して、結果意味のないケアマネジメントでも書類ができていれば評価されているのが現状。
20. 訪問診療の相談員を兼務しています。医療と介護の連携を研修会等でとりあげていますが職業柄、他のケアマネジャーさんと関わりもあり連携についての難しさを感じています。Drは在宅で見ていくつもりがケアマネの判断で施設入所になってしまったり、緊急搬送の指示等、家族の不安をとってあげることがケアマネの役割なのにケアマネ自身が不安を与えてしまう。これからの高齢社会を向かえることをシュミレーションできていない。在宅で支える医療介護の連携をわかっていない。ケアマネの上から視線はやめてほしいです。すみません。意見です。
21. 一人で悩みを抱えないで、困りごとがあったら必ず身近にいる誰かに相談してください。探せば誰かいるはずです。
22. 思っていたより書類の作成、提出物の作成に時間を費やすことが多い。簡素にならないものか。
23. 疲れた。休みをしっかりとろう。
24. 介護保険がいつまでも続くと思えないということ。
25. 一人ケアマネでは孤独、相談相手がいない。他のケアマネに相談したくても相手も忙しいだろうし迷惑になると思うとできない。きちんと業務ができているのか自信がなく不安。でも自分でやるしかない。

オ 今後において私たちケアマネジャーがその役割を果たしていくためには何が最も必要だと思いますか。

1. 人をまとめる力。心理術。
2. 介護職員の処遇改善にのみクローズアップされているか、ケアマネになって賃金さが下がるのでは目指す人がいなくなると思う。
3. ケアマネジャーは独立した事業所で業務を行うのが一番だと思います。以前は、通所介護兼併設された居宅でケアマネを行い自社のサービスを使うよう強制されていた。※独立したことでフットワークもよく幅広く相談に乗ることができ、忙しいのですがストレスはないです。

4.	長く事業所に所属してきたが昨年からは独立して自分で事業を始めている。事業所に所属していると、どうしても併設の事業所を使うように指示が強く出る。公正中立な立場をつらぬくことは難しいが、とても重要なことだと思っている。
5.	医療との連携が必要だと思います。しかし、施設サービス事業所が医療ニーズの高い方の拒否があり支援に支障あります。
6.	生活者の視点が今よりもっと重視されるべきと感じています。胃ろうや痰吸引は医療行為とされているが利用者様の尊厳等が守られれば、または家族の了承があれば誰でも行ってよいのではないかと。
7.	地域包括ケアシステム構築のため、居宅ケアマネは重要な役割を担うが事業所として、自立運営は困難、赤字経営である。国家資格化し地位向上報酬単価の向上が必要。
8.	書類の削減。このアンケートも含めて公共機関からもやたらと書類やアンケートが多い。正規業務時間を圧迫している。
9.	専門的な自己研鑽と学習。
10.	ご家族の協力、他職種連携。
11.	どんどん変わっていく制度に対する知識とそれを遵守していく意志と実行力。減算回避となってしまいます。
12.	ニュートラルな立場、考え。
13.	①あきらめない ②小さなことからこつこつと ③苦手と思わず正面から対応していく ④実行してみないとわからないのでやってみること。
14.	正しいさまざまな知識と分析力。
15.	ケアマネは何でも屋。休日でも何か急なことがあると電話がかかってくる。別途手当もなく、今の安い給料では今後もケアマネを続けていく自信がありません。
16.	介護保険法が変更されるたびに内容を把握する、利用者の状態を細やかに観察し必要なサービスを利用したい。
17.	利用者へのサービス説明。利用者へ寄り添う気持ち。
18.	独居や高齢者世帯が増えケアマネが業務以外の事を行わざるをえない環境となっている。精神的負担が大きく責任感から休まる時がない。本来の業務を行うために業務外のことを行うサービスの充実が必要と考えます。
19.	試験に合格した事で決して満足しない事、大切なのは合格して以降です。
20.	書類に追われるよりも、利用者と向き合う時間を増やす事。
21.	他職種、地域、医療との連携。
22.	1人1人のケアマネが責任を持って業務を行うこと。1人のケアマネが適正な業務を行っていないと全体としてとらえられてしまう。
23.	口を開けば居宅は採算が合わず赤字だと言われます。介護保険の「要」と言われながら自立できない事業所と感じています。法人内でも居宅事業所がどうしても必須であり事業所面でもリーダーシップが取れる仕事がしたいと思います。
24.	ケアマネジャーとしての自分の立ち位置をしっかりと持ちながら支援していくことが必要だと思います。
25.	社会にもっと福祉について周知を求めたい。
26.	介護支援専門員としての倫理を常に念頭に入れ業務にあたる。毎日の自分の行動、言動を振り返り気付きを持ちながら業務にあたる。

27. アセスメントをしっかり行い、必要なサービスを決定する。
28. 他職種との連携。
29. 介護保険サービスを利用してもらえない限り評価されない報酬制度の改善。
30. 厳しくなる介護保険財政の中で必要なサービスを見極める力が必要だと思う。
31. 業務の簡素化→業務をきちんとこなすには業務時間だけでは足りません。
32. 安定した社会的地位と賃金など。
33. ケアマネの質の向上、研修へ行っても高齢のケアマネが多く若さが少ない、なんだろう、この人は？と思うケアマネも多く見かけます。だからケアマネ不要論も出るのだと思います。
34. 幅広い知識が必要。
35. CMを魅力的に見せる！！自らもそう感じる！！発進する！！これがないと次の世代、CMの成り手が無くなると思います。
36. 私は研修費用も自分で出しています。金額も多くなってきてますし、もっと軽減できるようにして頂きたいです。
37. 保険財政の厳しさや給付費用の増大などケアマネが説明しても限界あり。地域全体で給付についての厳しい現状を伝える必要があります。
38. 知識。
39. 介護保険制度が続いていくこと、そしてケアマネのマネジメントの利用者負担が発生しないこと(10割公費で負担していくこと)だと考えています。
40. 給料分稼げないで、中立・公正をどこまで貫けるか？人の心に寄り添える心の豊かさをどう培っていけるか？嫌な人をどうやって好きになれるか？常に自問し、向上努力すること。
41. 「ケアマネは必要ない」という話し合いをする前に、ケアマネへの必要性を知ってもらいたい(認知度を上げたい)。ケアマネの業務を知っているかのように出しゃばる職種の方もいますが・・・表面だけでケアマネほど知識を持っていない。
42. 質の向上。
43. ケアマネの仕事はなんでも屋さんになっている。予防プラン、総合事業のプランは全くPayせずボランティアである。(単独事業所としては採算取れない)ケアマネのよき相談相手となる事業所を育てていくことがとても大切だと思う。
44. 対人援助や技術を磨くこと。
45. ケアマネ資格を国家試験にして国がしっかりバックケアして、今後の高齢社会に対応していく必要がある。
46. 1人暮らしの方が増え、入院時等対応してくれる人がいない。判断能力が明らかにない人が、トラブルを抱え1人で暮らしている、行政にももっと介入してほしい。
47. 地域包括支援システムの確立のためにも今後ケアマネ・主任ケアマネの責務は更に大きくなっていくと思われる。物理的にも精神的にも負担が大きい上に、介護職員の処遇改善ばかりが問われ、我々ケアマネの処遇は更に厳しいと感じている。施設の中においては介護職員以下の現状です。地位と賃金の確保は大きな課題だと思う。
48. 在宅でずっと暮らしていくためには医療との連携が最重要だと思います。また、終末期における在宅での看取りも関係者の意思の統一等ケアマネの頑張りも必要です。
49. 専門職としての教育の見直しが必要だと思います。

50. 利用者と向き合える時間が増えること。
51. ケアマネジャーは全体を見ていく。物事をあらゆる角度から思考が大切に思います。
52. 忍耐力と横のつながり(他職種)。
53. ゆとり。
54. 書類、書類と事務作業が多く実際に患者さんや利用者さん家族さんと直接関わる時間が短くなってしまうため、もっと関わる時間を作るために書類の種類を必要最低限にしていくこと。
55. 現在、社会福祉法人、サービス事業所との併設であるために、公正中立を保つことが難しい。非営利団体といえども公正中立の立場が難しくなっている。
56. 介護職と同様、賃金が安い。処遇改善加算のような対応を介護支援専門員にもお願いしたいです。
57. もっと利用者や家族との面談等に時間をかけられるようにしたい。
58. とにかく自己で向上していくこと。専門家としての地位を築くためには常に法会も追っていく必要があると思います。
59. ケアマネジャーになる前と、なった後では(仕事の上で)直面する問題の量や深さが格段に大変。自分が業務を行う上でスキルアップしていかなければならないことが沢山ある。自分が成長した分だけ利用者の良い支援ができると感じている。もっと学ぶ時間と、そのためのお金も必要。
60. ケアマネとしての役割を果たすためには、男性ケアマネでも家庭が持てるよう、国からの処遇を確立することが必要だと思います。
61. 健康な身体と折れない心。
62. 医療従事者、介護従事者、地域の人との顔の見える関係と信頼。
63. 制度改正・・・ケアマネジャーの業務内容が多過ぎるため時間がいくらあっても足りません。書類を怠るとペナルティーが課せられると支援に支障が出ます。このままだと皆、辞めてしまいます。
64. 社会的地位の向上、給料アップ。
65. 報酬をあげて独立できるだけの保障がないと本当のプロは育たないと思います。
66. 包容力、心の余裕、先見の眼と改革していこうとする実践力と分析力、冷静な判断力。
67. 家族がいても話をしない方や一人で過ごす時間が多いので話を聞く力、いて欲しいと思っている方は多い。
68. 法定研修のみの参加だけでなく自主研修に参加したり自己研鑽を行いコンプライアンスにのっとった適切な介護サービスを提供できるようになること。
69. ケアマネジャー自身の健康保持が必須、ケアマネジャー間の支援や相続相手確保、保険者の適切な指導を支援。
70. 自分自身の心身共に健康であることが必要と感じています。
71. 多職種連携はもちろんですが、行政との関わり、重要だと思います。
72. ケアマネ同士、連携を取り合い情報交換等をする。
73. 家族の役割や親類、地域の役割を持ってもらい行政との繋がりがうまくいよう連携をとっていく。
74. 中立公正であること。
75. 国家資格、独占業務に位置づけられるような専門性。

76. 所属している法人や勤務地区の行政機関、包括支援センターのサポートが不可欠。困難なケースが増える中、ケアマネ1人では太刀打ちできないことも多く疲弊します。
77. 冷静な判断、迅速な行動。
78. ケアマネの仕事に対する世の中の理解が必要。対利用者、対家族、において精神的にも大変なことも多く SW 的な部分もあるにも関わらず、賃金的にも低いと思う。
79. プライベートが充実していないと支援は難しい。仕事とプライベートをはっきり分けていかないと長続きはしない。
80. 努力と忍耐。
81. 人への関心、愛情、優しさ、公平性、勤勉さ、強い意志、コミュニケーション力。
82. 自分ひとりで抱え込まず他職種との連携を図ること。
83. 幅広い知識とコミュニケーション能力だと思います。
84. 株式会社所属のケアマネのため。自社率について会社より言われるのでプラン作成上考えてしまうことがある。
85. 改正毎の介護保険への理解をし、いろいろな研修への参加で個人の資質を高めていく。
86. 利用者本位、自立支援の意味を本当に理解しているのか、アセスメント力の向上が必要。
87. 介護度が軽くなったら評価される賃金システム。
88. 地域包括ケアを確立するためにケアマネジャーとしてどれだけ地域のために動けるか、ということが必要と考える。
89. 介護保険制度、介護支援専門員以外の知識や制度。社会福祉や障害者福祉、生保など。
90. 利用者様とのコミュニケーションを一番大事にしています。相手の本音の部分に心を寄せる気持ちで対応しています。
91. 支援、他事業所との関係、ネットワークの構築・活用全てにおいて信頼関係、人間性が重要だと思います。
92. 書類の作成や入力に時間をとられてしまうので適切なケアマネジメントができないため、書類の負担を少なくしていければと思います。今後、もしケアプラン代を利用者に負担が生じるとしたらあらためて質を問われてくると思います。
93. ケアマネ本人のスキルアップ(あらゆる方面からの情報提供)。相手の気持ちに寄り添う。
94. 利用者や家族がもっと幸せになるお手伝い。
95. 低賃金で働いているのに膨大な時間と莫大な研修費の縮小。キャリアアップによる可能性。
96. コミュニケーション能力を学び信頼関係を築いていく。発言をフィードバックし承認していくことが大切です。
97. 研修に参加する。
98. 勉強や実技などではなく、その人が経験したものがその人達(高齢者様)を救うことになると思います。人間力を大きくつけましょう。
99. 資格の認知度、スキルアップ、所属先の研修費用の補償など。
100. 介護保険制度がめまぐるしく変化する中で情報をしっかり把握し、自己研鑽をしていく努力とケアマネジメント力かな、と思います。ケアマネジャー不要論に走りそうな不安を感じています。

101. 書類業務を減らして本人や家族の話をじっくり聞く時間をつくること。
102. 医療福祉の分野すべてに精通しケアマネジャーではなく「ライフマネジャー」になることが必要なのではないかと。 (地域包括ケアシステム導入にむけて)
103. ケアマネ同士の交流(研修以外の懇親会など)。顔の見える関係で相談や意見しあえる仲間作り。役割を確認しあうために有効だと思います。
104. 長年ケアマネの仕事に従事していますが担当するケースはさまざまですし人も違うので基本は変わらなくても個々にあった対応を心がけるようにしています。
105. 書類や手続きの簡素化。各々の方の状態や状況に応じ柔軟性を持った対応を可能にしていきたい。
106. 公正中立、どうしても事業所が複数あるとそこに回さなければならない状況があり、いいようにされてしまう。そのためには独立している事業所を増やしていかなければいけない。
107. チームワークが必要で介護全体がレベルアップしないと切りさかれたケアでは問題が発生しやすい。
108. 地域包括ケアシステムを構築するためには営利法人所属では難しい。毎年このことの葛藤がある。
109. ケアマネジャーに求められることも増えてきて、ケアマネジメントの質を高めていかななくてはならないことは理解していますが、ただやみくもに質を高めていだけでなく効率よく仕事を進められる仕組みも考えていかないと担い手がなくなるのではないかと思います。
110. メンタル面も含め自己体調管理が必要。
111. 行政、医療機関、フォーマル、インフォーマルなサービス提供事業所との顔の見える連携が必要と思います。
112. 専門性の確立と正当な評価、特に業務外(ケアマネとしての)の頼まれごとをボランティアでやっている場合があることに対して行政にも理解してもらいたい。
113. 行政や関係機関との連携、協力体制、ケアマネの業務の線引きが曖昧できりが無い。疲弊してしまうことが多いので協力体制が不可欠だと思います。
114. 高いモラルと職種に対するプライド。
115. 他業種との役割分担、情報の共有。
116. 提出書類の簡素化。仕事量が多くてやり切れない。
117. プロとして認められる質の向上。独立、起業しても家族を養える収入を得られること。
118. 本人、家族の言葉に耳をかたむけ傾聴すること。
119. 地位の向上。専門性のある仕事なので国家資格への認定、サポート体制。
120. 社会資源をきちんと把握する。必要な情報を伝え本人にとって有効なサービスを導く。
121. 介護報酬、それなりの報酬を得るためには件数をこなさなければならない。ケアマネの業務の範囲が広すぎるので忙しい。
122. 便利屋にならないこと。できないことはできないと線引きをすること。利用者にも自助努力を促していくこと。
123. 特定の事業所に集中しないための居宅介護支援事業所の独立性の確保。そのための居宅介護支援費のアップ。
124. 法定研修の短時間化。ケアマネジャーを業として行っているものに研修は長すぎるため。
125. 業務内容(量)にあった報酬。単独事業所では経営困難。

126. 利用者様との信頼関係だと思う。そのためには数多くの足を運ばなければならないが時間がなく現在はあまりできていない。今後も頑張ります。
127. 情報収集、共有、多職種との連携、地域力の育成等、家族力の向上等。
128. 人間性。
129. 私は長年、株式会社の介護支援事業所の管理者兼ケアマネとして仕事をしてきましたが、数年前に退職し3年前に自分の敷地に一人で事業所を立ち上げました。現在の制度の中で今後ケアマネの役割は何か、特に単独の一人ケアマネ事業所は継続可能か等考えています。地域包括システムの中でできることを検討し実践していきたいと考えています。
130. 報酬が少なすぎる。それでも続けていくのは利用者のことを考えてとしかいえない。
131. ケアマネジャーの仕事は心身共に激務だと思います。365日24時間いつでも対応してくれるケアマネを望む利用者・事業所が多いますが社会的な立場や労働条件を向上させないとその役割は果たせないと思う。
132. 基本単価を抑え、さまざまな加算を増やしていただきたい。包括単価では納得がいかない。
133. 介護保険改正に伴う知識取得。
134. ①切れ目のない支援が行えるよう多職種と連携を図ること。②電子機器の導入により記録時間を軽減して対人援助、研修時間を増やしていくことが必要だと思います。
135. ケアマネジャーの国家資格化。社会的地位を上げてほしい。
136. 給付以外にも受診や家族関係の調整、独居の方等の後方支援がかなり必要になってきていると思われま。また、介護保険以外のサービスもかなり重要だと思われま。
137. 利用者さんが在宅生活を続けるために「もうちょっとの手助け」部分を補えるサービスを提供できるよう地域に協力を求めていくこと。
138. 適切なアセスメントを可能にするには、対人個別援助技術(面接技術)は最低限のスキルだと思う。しかしケアマネジャーは職業的背景が多様で、面接技術の訓練を受けている人ばかりではないので、ここを磨く機会(研修等)をもっと設けるべき。
139. 社会の中での役割をきちんとする(「何でも屋」と称されることが多いため)。
140. ケアマネの社会的地位が必要と考えま。医療法人で病院内に事業所がありますが、医療との連携といわれますが、介護保険を理解していない医療職から一方的に要望ばかり言われ困ってま。
141. 根気、努力、向上心。
142. 事業所内で話し合った結果、一番はケアマネが国家資格になるとよいということです。(ケアマネに求められていることも多く、対等に責任を果たしていくためには地位の向上も必要)
143. ケアマネジャー同士が互いに励ましあい困ったことなど相談しあい良好な仲間づくりを築くこと。
144. スキルアップと個人の資質。メンタルの強さ。
145. 要支援の委託料が安く、要支援であっても、要介護であってもかかる手間は変わらないのが現実なのに給料には繋ぎきれない。
146. 色々な情報を知りえること。そして必要であるものを選択できる適切な視点、結び合わせる調整力、常に研鑽していくことが大切だと思っま。

147. ケアマネは何でも屋になりやすい。これだけいろいろやっているのに何かにつけてケアマネの能力が足りないなどと言われやっつけられない。
148. さちんと休みをとり体調を管理すること。自身を管理できなければ利用者にも言えない。
149. 介護保険の知識だけではなく、コミュニケーションを図り信頼関係を築いていくこと。
150. 「知識や情報」自分自身がそれを知らないと利用者に伝えることができない。
151. 今後も高齢者が増えて、より財源的に厳しい状況になることを踏まえ、本人の希望に添いつつ自立支援のためにより効果的な提案をすることができる能力。
152. 生活を維持していくため十分な賃金がもらえるような料金制度にしてもらいたい(1件 15,000～20,000)。
153. 利用者及び家族に感謝される等、自分らしい(利用者及び家族)ケアプランを心がけている。本人家族の本心を知ることに心がけている。
154. ご利用者様の立場に寄り添い考えてあげること。
155. ソーシャルワークをしているという視点を持つ。自身の仕事を理解し社会に広報していく。
156. 向上心。
157. 中正公立。
158. 私たち 60 歳を過ぎたケアマネは次回更新はやめようと思います。しかし本当は年や経験を重ねた人たちの方が高齢者の本当の意向がわかりやすかったりするものだと思います。私個人的にはヘルパー1級・2級のようにケアマネも遠くの研修所に行き何時間かけ研修にいくより地域の行政で車の更新研修のように行えばプラン料を下げる方策もあると思います。
159. 情報収集、必要な研修への積極的な参加。
160. 寄り添う気持ちと行動力。
161. 今後、さらに独居、認知症、老々介護と障害者、困難事例が増えていくため、ケアマネをサポートする体制や賃金アップが必要と思います。
162. 今の担当者数では一人ひとりに対して十分な関わりができていないといえない。残業しないと業務が回らない。多忙な割には給与が低いので待遇の改善が必要。
163. 介護給付費が利用者の負担になるとなれば、私はケアマネジャーをやめます。ケアマネジャーの公平中立性が保てなくなると思います。
164. 研修に参加できる会社の体制。
165. 今ケアマネっていいように使われている。今後もっとケアマネの役割を認識してもらえよう活動したい。何分だけ行っても「○○○ケアマネはやってくれた」と言われ、伺いケアマネの方をよしとする風潮がある。
166. 個々の利用者様の思いに耳を傾け、その人らしい日々の生活が営めるように支援していくお手伝いができればと思います。
167. 地域の中に出て行き地域の住民と一体になって働きかけていく。
168. 大きく制度が変わるにあたってケアマネジャーの役割はこれまで以上に重要です。が、あまりにもサービスに偏りすぎるケアマネが多く、今後は総合事業も視野に入れなくてはならないのに、ほとんどは「今」しか見ていないと思われまます。

その他の自由記載

1. 今の高齢者と違い団塊世代の人達が高齢者になった時ケアマネジャーが支えられるか心配がある。理由として、生活の質や求めるものが今の高齢者とは違うことや、ケアマネジャーも年配者が多いため支える側も世代交代を少しずつ図っていかないと難しくなると思う。今の若い人は人の事にあまり関心がない。
2. ゴルフ。
3. 温泉。

介護支援専門員の労働環境の実態調査 ～集計結果から見えてきたもの～

○介護保険制度創設以来、居宅介護支援事業所は介護支援専門員「ひとり」でも開設可能であった。今回の調査に協力していただいた皆様のうち、「単独」の居宅介護支援事業所で従事している方が 28.0%であり、その開設後の期間を見ると、介護保険法の改正（介護支援専門員を取り巻く環境の変化）と連動しているように見てとれる。加えて「単独」に限らず事業所内での介護支援専門員人数は「0～3人」が 80.6%であり、ほとんどの事業所が少人数での運営となっていることがわかる。

※非常勤の無回答割合が高いのは非常勤が 0 人という回答も含まれている。

○千葉県内の主任介護支援専門員資格保有者は約 1,850 名（平成 28 年 4 月末現在）を超えている。今回の回答者も主任介護支援専門員の資格保有者が多いことが伺えるが、特定事業所加算を「取得していない」事業所が多い。この背景には、個々の事業所の基準等もあり“取得できない”という回答も含まれていることが推測できる。

○回答者のうち開業者（経営者）が多く含まれる。他の従業者に対する、労働環境（待遇面）については、確保されている様に見受けられるが、残業代については、手当として「特になし」（＝明確な規定がない）という答えも 40%超である。回答者が残業代をどの様に認識しているのか。現実問題において、ケアマネジメントという業務が定時の中で解決できない複雑な領域ということが現れている。

○法定研修での研修費用については、全額自己負担が 37.8%（所属先が全額負担 48.7%）とあり、法定研修に関する意識・対応の違いが伺える。自主研修においては、法定研修同様、事業所判断により負担先が異なるものの、判断基準は「研修の内容」が主であった。

○業務に使用する「車」において、個人所有が 23.8%であり、事故等の補償が自己責任になる方が 12.9%おられた。

○介護支援専門員の業務必需品とは何だろうか？「私物をやむを得ず使用」の中に文房具等が多くあり、事業所内において『会社が揃えるもの』と『個人が揃えるもの』の線引きと意識統一をすることも大切かと考える。

○全体的に少人数での事業所が多く、ひとりにかかる負担は多くなっていると考えられる。業務も複雑かつ多忙を極める中、スケジュールコントロール、ストレスマネジメントが大切である。また、今後ますます、多職種連携が求められ、会議や研修等への参加の場が増えていくことが予想される。視野を広げ、介護支援専門員としての知識・技術の向上を継続的に図っていくことが求められ、自己研鑽の必要性を自覚し、社会人・専門職として、さらなるケアマネジメントの質向上を目指していくことが私たち介護支援専門員には大事である。